

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32114	鹿島賑わい活性化事業	産業経済部	観光・国際交流課	2
32211	東道後温泉郷春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	3
32211	松山を楽しもうキャンペーン事業	産業経済部	観光・国際交流課	4
32211	鹿島春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	5
32211	風早海まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	6
32211	松山春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	7
32211	松山野球拳おどり事業	産業経済部	観光・国際交流課	8
32211	松山港まつり三津浜花火大会事業	産業経済部	観光・国際交流課	9
32212	伊予絃産業振興事業負担金事業	産業経済部	観光・国際交流課	10
32212	放生園管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	11
32212	HAIKU(国際俳句)ブランディング事業	産業経済部	観光・国際交流課	12
32221	坊っちゃん列車運行支援事業	産業経済部	観光・国際交流課	13
32221	観光開発等産業活性化基金積立金(坊っちゃん列車運行支援分)	産業経済部	観光・国際交流課	14
32221	権現温泉管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	15
32221	四国のみち管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	16
32221	二之丸庭園・城山公園等管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	17
32221	渡船管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	18
32221	索道運輸管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	19
32221	索道施設維持管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	20
32221	松山城管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	21
32222	観光誘客・観光おもてなし事業	産業経済部	観光・国際交流課	22
32233	クルーズ船誘致・受入推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	23
32231	観光WEBプロモーション事業	産業経済部	観光・国際交流課	24
32232	国際観光客誘致促進事業(多言語パンフレット作成)	産業経済部	観光・国際交流課	25
32232	国際観光客誘致促進事業(国際観光振興機構負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	26
32232	国際観光客誘致促進事業(松山空港利用促進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	27
32232	国際観光客誘致促進事業(愛媛・韓国経済観光交流推進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	28
32232	国際観光客誘致促進事業(愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	29
32232	国際観光客誘致促進事業(台湾友好交流事業)	産業経済部	観光・国際交流課	30
32232	国際観光客誘致促進事業(ホストタウン事業)	産業経済部	観光・国際交流課	31
32232	(公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	32
32233	修学旅行誘致促進事業	産業経済部	観光・国際交流課	33
32241	広域・観光交流事業(広域観光連携推進協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	34
32241	広域・観光交流事業(四国四市観光誘致促進協議会事業)	産業経済部	観光・国際交流課	35
32241	広域・観光交流事業(四国観光立県推進愛媛協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	36
32241	広域・観光交流事業(観光交流事業)	産業経済部	観光・国際交流課	37
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(坊っちゃん列車維持改善事業費補助金)	産業経済部	観光・国際交流課	38
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR西日本西遊紀行プロジェクト)	産業経済部	観光・国際交流課	39
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内・松山ツーリズム推進会議)	産業経済部	観光・国際交流課	40
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(負担金・補助金除く)	産業経済部	観光・国際交流課	41
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR四国協定負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	42
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内4県都市長会事業実行委員会)	産業経済部	観光・国際交流課	43
39999	観光総務事務事業(にきたつの路日曜市開催事業)	産業経済部	観光・国際交流課	44
39999	観光総務事務事業(JR松山駅観光案内所業務)	産業経済部	観光・国際交流課	45
39999	観光総務事務事業(愛媛県観光物産協会運営事業)	産業経済部	観光・国際交流課	46
39999	観光総務事務事業(日本観光振興協会運営事業)	産業経済部	観光・国際交流課	47
42311	(公財)松山国際交流協会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	48
42312	国際交流推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	49
44111	松山城復興建造物等調査・改修事業	産業経済部	観光・国際交流課	50

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	八木 俊宏	片山 弘徳

1.事業概要【Plan】

事業名	鹿島賑わい活性化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32114							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	－	○	
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令					
取組みの柱	風早レトロタウン構想の推進						
目的・背景	風光明媚な地域の宝である鹿島の活性化を図り、昭和31年に瀬戸内海国立公園に指定された鹿島公園の景観整備及び施設の維持管理を目的に風早レトロタウン構想の策定に伴い、風早サブセンターゾーンの活性化策の一つとして事業を開始した。						
対象・内容	海水浴シーズンに合わせ、海水浴場のサメ防護ネットの設置・撤去に係る業務、北条鹿島博物展示館の管理業務や鹿島公園清掃業務等の委託を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	鹿島公園清掃等業務委託料		11,654
予算 (千円)	事業費計	21,604	25,579	24,159			北条鹿島新鹿園石積設置等工事請負費		7,603
	国費・県費						光熱水費		2,096
	市債								
	その他	449	529	510					
	一般財源	21,155	25,050	23,649					
決算 (千円)	事業費計	21,096	24,669			主な取組 内容 【R5】	鹿島の賑わいを創出するため、北条鹿島博物展示館の運営や海水浴場にサメ防護ネットを設置した。また、鹿島公園の景観整備及び施設の維持管理を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	520	513						
	一般財源	20,576	24,156						
	(執行率)	98%	96%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	来島者数		目標	55,500	55,500	55,500	55,500	新型コロナウイルス感染症の影響が残り、鹿島でのイベント数が少なかったため。	
			実績	43,327	41,604				
	単年で増	人	達成率	78.1%	74.9%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	滞りなく施設管理を行うことができたが、新型コロナウイルス感染症発生前の来島者数に及ばなかった。							
課題	キャンプ等のアウトドアレジャーを楽しむ来島者が増加している。それに伴い来島者のマナーの悪化などが見受けられるため、ルール徹底やマナーの啓発を行う必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	重要な観光施設である鹿島の運営管理を今後も行う必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	笠置 恵美	

1.事業概要【Plan】

事業名	東道後温泉郷春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	無し				
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施						
目的・背景	東道後温泉郷を中心に実施される春まつりの開催を支援し、市民の憩いの場を提供すると同時に、観光客の誘致及び地域の活性化を図る。						
対象・内容	毎年4月下旬の祝日(昭和の日)に少年剣道大会等のスポーツ大会や各種団体のバザーを実施する東道後温泉郷春祭り実行委員会に補助金を支出する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	補助金		100
予算 (千円)	事業費計	100	100	100					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	100	100	100					
決算 (千円)	事業費計	0	100			主な取組 内容 【R5】	東道後温泉郷春まつり事業費補助金交付要綱に基づき、本市の観光施策に有用な催事の経費に対し補助金を支出する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	100						
	(執行率)	0%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	補助金の適正交付 (回数)		目標	—	1	1	1	補助金を適正に交付できたため。	
			実績	—	1				
	現状維持	千円	達成率	—	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定したとおりの補助金を支出することができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	地元の主要な祭りを今後も実施する必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	岡本 徹也	担当	須田 大介	江原 晶彦	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山を楽しもうキャンペーン事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	－	－	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令					
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施							
目的・背景	【目的】全国的にも稀な事業展開手法として、県下主要メディア(新聞社・民間テレビ局・ラジオ局)が一体となって城山公園(堀之内)とその周辺で、毎年秋に集客力のあるイベントを実施することで、中心市街地の活性化を目的としている。 【背景】人々が集い、楽しめる場所となる城山公園の利活用を促進する中で、地元メディアとの連携により、集客イベントを展開するため事業を開始した。							
対象・内容	【対象】県内外観光客と市民（負担金交付先:松山を楽しもうキャンペーン実行委員会） 【内容】①えひめ・まつやま産業まつりとの連携により実施する「えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー」 ②毎年2万人を超える子ども連れのご家族が参加する「キッズふれあいランド」 ③県警音楽隊との連携による「秋のプロムナードコンサート」 ④まつやま歌うま選手権（旧:歌謡チャンピオン大賞）							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山を楽しもうキャン ペーン実行委員会への負 担金		21,991
予算 (千円)	事業費計	23,800	23,500	23,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	23,800	23,500	23,000					
決算 (千円)	事業費計	23,800	21,991			主な 取組 内容 【R5】	地元メディアと連携を図り、秋に集客力の あるイベントを実施 ・秋のプロムナードコンサート ・キッズふれあいランド (えひめ・まつやま産業まつりwithメディア パーティー及びまつやま歌うま選手権決勝 は悪天候により中止)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	23,800	21,991						
	(執行率)	100%	94%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント開催数		目標	7	7	7	7	悪天候によりイベント開催数が減少した。	
			実績	6	5				
	現状維持	回	達成率	85.7%	71.4%				
成果指標	集客数		目標	82,400	82,400	82,400	82,400	悪天候によりイベント開催数が減少した。	
			実績	58,600	22,100				
	単年で増	人	達成率	71.1%	26.8%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	一部のイベントは、悪天候により中止となったため集客数等が目標に届かなかったが、その他のイベントは概ね順調に実施することができたため。							
課題	今後の社会状況に合わせ、多くの方に楽しんでいただけるイベントを実施していく必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度は、一部イベントが悪天候により中止となったが、その他の実施したイベントでは、多くの方に楽しんでいただくことができた。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	片山 弘徳	八木 俊宏

1.事業概要【Plan】

事業名	鹿島春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	無し				
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施						
目的・背景	市内の観光関連行事として、観光客の誘致を目的とする。 毎年5月3日・4日に開催される北条地区の伝統行事として、市内外に定着している。						
対象・内容	北条鹿島まつり実行委員会に補助金を支出する。 5月3日:鹿島の權練りやステージイベント、5月4日:大注連縄張替を実施。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	北条鹿島まつり運営補助 金		450
予算 (千円)	事業費計	450	450	450					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	450	450	450					
決算 (千円)	事業費計	179	450			主な 取組 内容 【R5】	・5月3日:鹿島の權練り、ステージイベント など ・5月4日:大注連縄張替		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	179	450						
	(執行率)	40%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	周知メディア数		目標	8	8	8	8	市広報のほか、民間雑誌やイベントHP等を活用した。	
			実績	8	10				
	単年で増	件	達成率	100.0%	125.0%				
成果指標	来島者数 (鹿島まつり期間中)		目標	3,600	3,600	3,600	3,600	目標値には達していないが、通常規模での開催や広報成果等により、前年比で約2倍の来島者となった。	
			実績	1,500	3,000				
	単年で増	人	達成率	41.7%	83.3%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	規模を縮小して開催した令和4年度に比べ、令和5年度は感染対策を実施のうえ、通常規模で開催することができた。目標には達しないものの、多くの見物客で賑わった。広報についても、例年より多く掲載することができた。							
課題	担い手不足の課題があり、まつりを継続していけるよう取り組む必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	伝統行事としてこれからも維持継続し、観光客の誘致にもつなげていく。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	片山 弘徳	安井 李江

1.事業概要【Plan】

事業名	風早海まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	－	－	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	無し				
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施						
目的・背景	交流人口の拡大と地域経済の活性化を目的としている。風早海まつりは昭和58年から花火大会と商工夜店まつりを共催した「北条夏まつり」として行われ、平成7年からは地域住民総ぐるみで参加する北条地域最大の夏のイベントとして開催されている。ワンダーランド河野氏まつりは豪族河野氏の歴史をたどるイベントとして定着している。						
対象・内容	風早海まつりを実施する風早海まつり実行委員会に補助金を支出する。 また、ワンダーランド河野氏まつりを実施するワンダーランド河野氏まつり実行委員会に負担金を支出する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	風早海まつり運営補助金		3,550
予算 (千円)	事業費計	4,250	4,250	4,650			ワンダーランド河野氏まつり負担金		700
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,250	4,250	4,650					
決算 (千円)	事業費計	4,250	4,250			主な 取組 内容 【R5】	・風早海まつり(7月29日) ・ワンダーランド河野氏まつり(10月22日)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,250	4,250						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項			
	その他								
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	周知メディア数		目標	6	6	6	6	市広報のほか、民間の雑誌やイベントHP等 を活用した。	
			実績	11	7				
	単年で増	件	達成率	183.3%	116.7%				
成果指標	花火の観覧者数		目標	48,000	48,000	48,000	48,000	感染症の類型が5類になって初めての花火 大会だったことや、天候に恵まれたこと、広 報成果などが要因。	
			実績	29,000	52,000				
	単年で増	人	達成率	60.4%	108.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	活動指標、成果指標ともに目標を達成し、まつりによって地域振興につなげた。							
課題	物価高騰による経費の増加					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き各まつりを開催し、地域振興につ なげるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	岡本 徹也	担当	須田 大介	丹下 遥香	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令					
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施						
目的・背景	【目的】 春の桜の時期に、松山城と城下町(お城下)を市民や観光客に広く楽しんでいただくとともに、松山の歴史、文化の継承に貢献することを目的として実施している。 【背景】 昭和42年に松山城小天守再建の決定を記念して開始						
対象・内容	【対象】市民、観光客 【内容】 お城まつり:大名武者行列、野球拳全国大会、東雲能、伊予節全国大会等 道後温泉まつり:湯祈禱、長寿餅つき、道後温泉おどり、女みこしかきくらべパレード 等						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	お城まつり実行委員会への負担金		16,350
予算 (千円)	事業費計	21,600	21,563	21,772			道後温泉まつり実行委員会への負担金		4,000
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	21,600	21,563	21,772		チラシ作成委託料		920	
決算 (千円)	事業費計	8,002	21,467			主な 取組 内容 【R5】	お城まつりは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催。道後温泉まつりは、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になったことから、コロナ前と同規模程度の内容で開催。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	8,002	21,467						
	(執行率)	37%	100%						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記 事項			
	その他								
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント開催数【主要イベント】		目標	6	6	6	6	お城まつりは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催できた。 道後温泉まつりは、コロナ前と同規模程度の内容で開催できた。	
			実績	2	6				
	現状維持	回	達成率	33.3%	100%				
成果指標	集客数		目標	186,450	186,450	186,450	186,450	新型コロナウイルス感染症の影響等により、一部のイベントでは目標数に届かなかった。	
			実績	20,100	142,450				
	単年で増	人	達成率	10.8%	76.4%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響等により、一部のイベントでは目標の集客数に届かなかったが、事業全体としては概ね順調のため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	実行委員会と連携し、多くの市民や観光客に楽しんでいただくイベントとして継続するため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	安井 李江	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山野球拳おどり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令					
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施						
目的・背景	昭和41年に、四国3県都の夏祭りに肩を並べる夏の風物詩を作ろうと、「松山おどり」としてスタートした。令和4年度から、「松山野球拳おどり」に改称して開催し、真夏の一大イベントとして憩いの場を提供するとともに、交流人口の拡大および地域の活性化を図ることを目的に実施している。						
対象・内容	松山野球拳おどり実行委員会に負担金を支出し、松山野球拳おどりを開催するほか、普及・広報活動をととして、まつりへの参画を促している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山野球拳おどり実行委 員会負担金		25,360
予算 (千円)	事業費計	26,330	23,860	23,860					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	26,330	23,860	23,860					
決算 (千円)	事業費計	26,330	25,360			主な 取組 内容 【R5】	4年ぶりに3日間の日程で街頭踊りを実施 した。 合わせて、YouTubeライブによるオンライ ン配信やライブコマースを実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	26,330	25,360						
	(執行率)	100%	106%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	令和5年度は、物価高騰やインボイス制度 への対応のため、当初予算より経費が必要 となり、負担金を追加負担した。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	参加連の数		目標	-	45	45	45	4年ぶりに3日間の通常開催ができたため。
			実績	29	45			
	単年で増	連	達成率	-	100%			
成果指標	観客動員数		目標	-	55,000	136,000	136,000	3日間の通常開催に戻り、関連イベント等も実施したため。
			実績	55,000	136,000			
	単年で増	人	達成率	-	247%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	4年ぶりに3日間の日程で、大街道、千舟町通り、城山公園(堀之内)での街頭踊りを実施し、市内中心部の活性化に寄与するとともに、YouTubeライブによるオンライン配信やライブコマースに取り組むなど、県内外へ魅力を発信することができたため。						
課題	野球拳おどりの参加者や観客が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復していない。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	交流人口の拡大と地域の活性化に寄与しているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	八木 俊宏	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山港まつり三津浜花火大会事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令					
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施						
目的・背景	「四国で最大級の花火大会」を共催実施することにより、観光客の誘客とともに、地域振興を図る。						
対象・内容	松山港まつり・三津浜花火大会を開催する松山港まつり振興会に負担金を支出する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山港まつり振興会への 負担金		13,150
予算 (千円)	事業費計	14,650	13,150	15,250			市内旅費		8
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	14,650	13,150	15,250					
決算 (千円)	事業費計	14,657	13,158			主な 取組 内容 【R5】	松山港まつり・三津浜花火大会の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	14,657	13,158						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	三津浜花火大会に伴う市内旅費が発生し たため決算額が予算額を上回った。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	広報媒体の活用 (広報誌、HP等)		目標	—	20	20	20	テレビ、ラジオ、広報紙、SNSなど幅広い広告媒体を活用できたため、	
			実績	18	20				
	現状維持	件	達成率	—	100%				
成果指標	観客数		目標	—	160,000	230,000	230,000	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、観光需要が戻ったため。	
			実績	150,000	230,000				
	現状維持	人	達成率	—	144%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	新型コロナウイルス感染症発生前の観客数まで回復することができ、地域振興に寄与した。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き花火大会を開催し、地域振興につなげるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	笠置 恵美	

1.事業概要【Plan】

事業名	伊予絣産業振興事業負担金事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32212							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令					
取組みの柱	既存観光資源の有効活用						
目的・背景	伝統的地場産業である伊予絣業界の振興のために実施している。伊予絣は松山の地場産業として、昔から人々に親しまれてきた。一方で、時代の経過とともにその売れ行きは年々減少しており伊予絣業界が発展するためには松山市の負担金支出が必要であるため。						
対象・内容	伊予織物工業協同組合では、伊予絣の発展のため、各種展示会、即売会を開催するほか、伝統工芸大賞に出品、無形文化財登録への取り組みなど伊予絣発展のため尽力している。 これらの取り組みを行う伊予織物工業協同組合に負担金を支出する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	負担金		400
予算 (千円)	事業費計	400	400	400					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400	400					
決算 (千円)	事業費計	400	400			主な取組 内容 【R5】	伝統工芸である伊予絣の発展のために活動を行っている伊予織物工業協同組合に負担金を支出する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1			特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担金の適正執行		目標	—	1	1	1	負担金を適正に支出できたため。	
			実績	—	1				
	現状維持	回	達成率	—	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	滞りなく負担金を支出し、伊予織物工業協同組合の活動を行うことができたため。							
課題	・伊予絁を存続させていくにあたって後継者等の問題					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	伝統工芸である伊予絁を継続していくために必要な事業であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	安井 李江	八木 俊宏

1.事業概要【Plan】

事業名	放生園管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32212							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令					
取組みの柱	既存観光資源の有効活用						
目的・背景	本市を代表する観光地である道後の玄関口となる放生園を適切に管理するため、樹木の保護育成、園内の清掃、施設(足湯・坊っちゃんカラクリ時計等)の管理を行う。						
対象・内容	対象:放生園内施設及び道後への観光客 ・道後温泉旅館協同組合に委託金を支出し、放生園内の樹木の保護育成、園内の清掃、足湯の管理等を行う。 ・坊っちゃんカラクリ時計の保守点検を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	委託料		3,244
予算 (千円)	事業費計	6,116	6,641	7,016			足湯使用料	2,002	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	6,116	6,641	7,016		光熱水費	744		
決算 (千円)	事業費計	5,950	6,561			主な取組 内容 【R5】	道後温泉旅館協同組合への委託により、敷地内の清掃や足湯の運営等の日常管理を行った。 坊っちゃんカラクリ時計の定期的な保守点検、調整並びに部品の交換を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,950	6,561						
	(執行率)	97%	99%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	足湯水質定期検査		目標	-	1	1	1	滞りなく足湯の水質検査を行うことができた。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	-	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	当初の予定どおり、委託を行うことで、坊っちゃんカラクリ時計の保守点検や敷地内の清掃や足湯の運営等の日常管理、樹木の剪定等を行うことができた。							
課題	今後、放生園内の施設や植栽の老朽化が進むため、定期的に状況を確認し、施設の点検・更新について計画的に予算計上する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の観光地の代表である道後の玄関口となる放生園を適正に管理し、観光事業の発展をはじめ地域振興に寄与する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	栗栖 洋平	担当	石丸 雄平	瀬戸 美琴

1.事業概要【Plan】

事業名	HAIKU(国際俳句)ブランディング事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32212								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	—	
施策	観光産業の振興							
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令					
取組みの柱	既存観光資源の有効活用							
目的・背景	【目的】「松山・俳句＝HAIKU」をブランディングし知名度を向上させるとともに、訪れた観光客に感動を与える新しい着地型旅行商品を開発し、国内外の観光客を誘致・誘客することで、滞在時間の増加や交流人口の拡大を目指す。 【背景】国内外の観光客を誘致・誘客するために、松山ならではの俳句や文学をテーマとした滞在プログラム型の旅行商品開発等に取り組むこととなった。							
対象・内容	【対象】国内外からの観光客 【交付先】松山はいく運営委員会 【内容】「松山・俳句＝HAIKU」をブランディングし知名度を向上させるとともに、「俳句や文学」を活用した世界的俳句大会の開催や新しい着地旅行商品を開発し、国内外の観光客を誘致・誘客することで、観光交流人口の拡大を目指すため、着地型観光プログラムである有料のまち歩きガイド「松山はいく」の運営母体「松山はいく運営委員会」へ負担金を支出する。 ・吟行体験等の「俳都＝松山」ならではの体験メニューを提供して、修学旅行誘致促進事業と連携 ・需要変化による新しい価値を創造したまち歩き商品等の充実・情報発信 ・連携都市・大学・新聞社・カルチャースクール、旅行会社との連携							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山はいく事業実施に伴う負担金		10,275
予算 (千円)	事業費計	15,500	15,500	13,950					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	15,500	15,500	13,950					
決算 (千円)	事業費計	12,874	10,275			主な 取組 内容 【R5】	・吟行体験等の「俳都＝松山」ならではの体験メニューを開発・販売 ・修学旅行誘致促進事業と連携し、観光客の誘致・誘客に取り組む		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	12,874	10,275						
	(執行率)	83%	66%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項	令和6年度に松山はいく事業に名称変更し継続。		
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.1	1.1	1.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	採用旅行会社数		目標	18	18	18	18	OTA活用や広告出稿等を通じ、消費者の目に触れるよう流通販売の強化を行い、松山の魅力を伝えることができた。	
			実績	15	20				
	単年で増	社	達成率	83.3%	111.1%				
成果指標	松山はいく参加者		目標	4,000	4,000	4,000	4,000	ガイド不足の影響により昨年度より減少しているが、申込状況は安定しているため、ガイドの負担を軽減しつつ、観光客のニーズに合わせた商品を提供できた。	
			実績	3,546	2,766				
	単年で増	人	達成率	88.7%	69.2%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	まち歩きガイド事業等を通じて、観光客に対し継続して松山の魅力を伝えることができているため。 また、松山ならではの俳句体験を希望する修学旅行誘致に際して、有効な体験メニューを提供できているため。							
課題	・まち歩きメニューの充実 ・ガイド人材の育成・確保 ・観光客等のニーズを反映した新しい体験メニューの開発					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	国内外の観光客に対応するため、ガイドの人材確保・スキルアップや新商品の造成などを継続して行い、観光客誘致に取り組む必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	笠置 恵美

1.事業概要【Plan】

事業名	坊っちゃん列車運行支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	—				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	令和5年11月から、人手不足や運行赤字を理由に本市の観光コンテンツの1つである坊っちゃん列車が運行を休止した。令和6年3月20日から運行が再開されたが、持続可能な運行に向けた検討が必要である。						
対象・内容	坊っちゃん列車の持続可能な運行に向けた財源確保のため、ふるさと納税型クラウドファンディングで寄付を募集する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	ふるさと納税サイト掲載に伴う手数料	68	
予算 (千円)	事業費計	0	171	14,913					
	国費・県費								
	市債								
	その他			14,000					
	一般財源	0	171	913					
決算 (千円)	事業費計	0	71			主な取組 内容 【R5】	・3月20日からクラウドファンディングで寄付の募集を開始した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	71						
	(執行率)	0%	42%						
人役	正規職員		0.5	1.0		特記事項	・寄附額に応じた執行となるため。		
	その他		0.0	0.0					
	合計	0.0	0.5	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	寄付額		目標	—	100	4900	—	・予算成立から募集開始までの期間が短く、周知が十分にできなかったため。	
			実績	—	52				
	累計で増	万円	達成率	—	52%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	財源確保に向けて、寄付を募ることができたため。							
課題	目標達成に向けた寄付額の増加。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度、令和6年度にまたがってクラウドファンディングを実施するため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	笠置 恵美

1.事業概要【Plan】

事業名	観光開発等産業活性化基金積立金(坊っちゃん列車運行支援分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	—				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	ふるさと納税型クラウドファンディングで集めた寄付金を坊っちゃん列車の運行継続に向けた財源として留保する予定である。						
対象・内容	ふるさと納税型クラウドファンディングで集まった寄付を基金に積み立てる。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	積立金		572
予算 (千円)	事業費計	0	1,000	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他		1,000	0					
	一般財源	0	0	0					
決算 (千円)	事業費計	0	572			主な 取組 内容 【R5】	・3月20日～3月31日までにふるさと納税型クラウドファンディングで集まった寄付を観光開発等産業活性化基金に積み立てを行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他		572						
	一般財源	0							
	(執行率)	0%	57%						
人役	正規職員	0.0	0.1	0.0		特記 事項	・寄附額に応じて積み立てるため。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.0	0.1	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	積立金の適正執行		目標	—	1	—	—	・基金に適正に積み立てることができたため。	
			実績	—	1				
	累計で増	回	達成率	—	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	その他							
	理由	集まった寄付金を今後の財源として基金に積み立てることができたため。							
課題	・特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	寄付金の活用方法が決定するまで基金を管理するため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	八木 俊宏	片山 弘徳

1.事業概要【Plan】

事業名	権現温泉管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	松山市温泉使用条例、松山市温泉使用条例施行規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	権現温泉を適正に供給し、観光事業の発展をはじめ地域の振興に寄与する。						
対象・内容	温泉の適正な供給のため、分湯施設(源泉・貯水槽・分湯槽)の維持管理を行う。 温泉の供給先に対し、使用料を毎月請求し、入金管理を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	光熱水費		132	
予算 (千円)	事業費計	483	434	374			権現温泉管理の報償費	50		
	国費・県費							権現温泉分湯施設等清掃 業務委託料	44	
	市債									
	その他	1,405	1,409	1,405						
	一般財源	-922	-975	-1,031						
決算 (千円)	事業費計	382	226			主な 取組 内容 【R5】	・分湯施設の維持管理 ・供給先に対する使用料の入金管理			
	国費・県費									
	市債									
	その他	1,404	1,408							
	一般財源	-1,022	-1,182							
	(執行率)	79%	52%							
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	工事請負費が発生しなかったため、決算額の 執行率が60％未満となった。			
	その他	0.1	0.1	0.1						
	合計	0.2	0.2	0.2						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	使用料収入		目標	1,404	1,404	1,404	1,404	滞りなく使用料が徴収できたため。	
			実績	1,404	1,408				
	現状維持	千円	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	当初の計画どおりに業務を遂行できた。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、権現温泉を適正に供給し、観光事業の発展をはじめ地域振興に寄与する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	

1.事業概要【Plan】

事業名	四国のみち管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全な利用を確保する。 愛媛県から管理委託の要請があり事業を開始した。						
対象・内容	四国のみち(四国自然歩道)委託区間:36.7km 旧道三坂峠を下るみち、瀬戸風峠へのみち、北三方ヶ森へのみち、高縄山探鳥のみちの各ルートを良好な状態に保つため、パトロールを行う。 また、シルバー人材センターに委託料を支出し、清掃活動等を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	清掃業務委託料		63
予算 (千円)	事業費計	66	66	64			消耗品		1
	国費・県費	63	63	63					
	市債								
	その他								
	一般財源	3	3	1					
決算 (千円)	事業費計	64	64			主な取組 内容 【R5】	四国のみちを良好な状態に保つため、パトロールと清掃活動を行った。		
	国費・県費	64	64						
	市債								
	その他								
	一般財源	0							
	(執行率)	97%	97%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	パトロール回数		目標	3	3	3	3	計画的にパトロールを実施できた。	
			実績	3	3				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全な利用を確保することができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き県の委託に従い、四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行う。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	岡本 徹也	担当	須田 大介	丹下 遥香	

1.事業概要【Plan】

事業名	二之丸庭園・城山公園等管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
32221								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			—	—	—	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	受入体制の整備		根拠法令	松山城山索道条例、松山城山索道条例施行規則、都市公園法、松山市都市公園条例、松山城二之丸史跡庭園条例、松山城二之丸史跡庭園条例施行規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	【目的】観光・文化施設として、松山城二之丸跡の遺構を保護する一方、四季折々に楽しめる史跡庭園として活用するとともに、市民に開放された都市公園である城山公園山頂広場(本丸広場)及び登城道等の効果的な維持管理・運営を目指す。 【背景】二之丸史跡庭園、城山公園、観光交流ホール及び会議室は、松山城及び索道運輸事業に関連する施設として、平成20年度から一括して指定管理を選定している。							
対象・内容	【対象】指定管理者 【事業内容】 二之丸史跡庭園施設内:庭園の運営、施設の日常管理を行うほか、連携してイベントを企画し実施する。 松山城山公園丸之内地区:本丸、長者ヶ平、登城道等(建造物を除く)において樹木の点検及び剪定や日常的な清掃及び維持補修を行う。 交流ホール・会議室:一般貸出のための利用申請受付、使用料徴収、利用促進のための各種案内及び企画等を行い、情報発信機能とまちづくり支援機能を担う。 その他、指定管理からの報告に基づき、必要に応じて施設の修繕等の対応を行う。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	委託料(指定管理料等)		134,692
予算 (千円)	事業費計	115,219	142,076	145,458			工事請負費		2,230
	国費・県費	4,171							
	市債								
	その他	11,895	11,314	14,416					
	一般財源	99,153	130,762	131,042					
決算 (千円)	事業費計	114,324	137,655			主な取組 内容 【R5】	二之丸史跡庭園、城山公園、交流ホールについて指定管理者制度のもと、適切な施設管理をした。 また、ゴールデンウィーク期間中、二之丸史跡庭園で、花のイベント「恋する庭園」を開催し、多くの方に楽しんでいただけた。		
	国費・県費	3,733							
	市債								
	その他	13,140	12,590						
	一般財源	97,451	125,065						
	(執行率)	99%	97%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	-	365	364	364	休園なく営業できたことにより目標を達成した。	
			実績	364	365				
	現状維持	日	達成率	-	100%				
成果指標	二之丸史跡庭園使用料・交流ホール使用料		目標	-	8,801	10,216	12,715	—	
			実績	10,396	9,518				
	単年で増	千円	達成率	-	108.1%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	休園することなく営業できた。 新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、使用料収入は若干減少したが、事業全体としては概ね順調である。							
課題	二之丸史跡庭園の認知度向上に向け、指定管理者と連携し、魅力あるイベント等を開催するなど、歳入の増加を図る。観光交流ホールの認知度向上に向け、指定管理者と連携し、周知方法を工夫するなど、歳入の増加を図る。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、指定管理者と連携し、歳入の増加を図れるよう努めていく。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	片山 弘徳	八木 俊宏

1.事業概要【Plan】

事業名	渡船管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興		—	—	—	—	
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	松山市鹿島公園渡船施設使用料条例、松山市鹿島公園渡船施設使用料条例施行規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	渡船運営に係る管理・点検(遊覧船を含む)及び駐車場の管理を行い、快適な運航や乗客の安全を確保するなどし、鹿島への誘客・利便性の向上を図る。鹿島への公共交通機関として市が渡船業務を開始した。						
対象・内容	渡船運航、渡船施設の維持管理を行う。 渡船運航および渡船施設の管理は民間委託している。 ・鹿島渡船運航業務委託:石崎汽船株式会社 ・鹿島渡船施設管理業務委託:松山市シルバー人材センター						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	鹿島観光事業特別	款	渡船管理事業費	項	渡船管理事業費	目	渡船管理事業費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	鹿島公園渡船運航業務委託料		13,573
予算 (千円)	事業費計	29,600	33,100	33,300			鹿島公園渡船施設管理業務委託料		6,340
	国費・県費								
	市債								
	その他	29,600	33,100	33,300					
	一般財源					船舶修繕料		5,290	
決算 (千円)	事業費計	27,657	30,759			主な 取組 内容 【R5】	渡船運航及び渡船施設管理を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	27,657	30,759						
	一般財源								
	(執行率)	93%	93%						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.3	1.3	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	渡船利用者数		目標	-	55,000	55,000	55,000	感染症の5類移行後、近場での「マイクロツーリズム」や、密を避けた「キャンプブーム」から、「県外」・「海外」の観光施設に観光客が分散していると考えている。	
			実績	43,327	41,604				
	単年で増	人	達成率	-	75.6				
成果指標	事故件数		目標	-	-	0	0	無事故を継続しており、今後も継続を目指すため、指標を設定。	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	-	-				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	渡船の安全管理を適切に行い、無事故で運航することができた。 来島者が減少しているが、引き続き、渡船施設の管理を適切に行い、利用者満足度を高められるよう努める。							
課題	物価や人件費の高騰により、委託料及び船舶修繕料などが増加傾向にある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	鹿島への唯一の公共交通として、適切に維持する必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	曽根 貞行	リーダー	岡本 徹也	担当	須田 大介	江原 晶彦	

1.事業概要【Plan】

事業名	索道運輸管理事業		事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	2:委託	
32221								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			—	—	—		—
施策	観光産業の振興			—	—	—		—
主な取組	受入体制の整備		根拠法令	地方公営企業法、松山城山索道条例、松山城山索道条例施行規則、松山城山索道の運転の取扱に関する規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	松山城ロープウェイ・リフトを活用し、松山城への観光客の利便性を図るとともに、安全・安心な索道を運営するなど、観光振興を図ることを目的とする。昭和30年8月に松山城ロープウェイを開通し、取り組みを開始した。							
対象・内容	松山城ロープウェイ・リフト及び付随施設(駅舎・駐車場) 松山城ロープウェイ・リフトについて、平成20年度から指定管理者制度を導入していたが、令和5年度からは索道運行受託者、指定管理者の2者が施設の管理・運営を行う体制に変更している。 ・来客の安全確保・観光案内に関する業務 ・集客促進及び苦情処理に関する業務 ・官公庁・旅行代理店、その他外部との連絡調整に関する業務 ・施設の操作・防災・警備及び清掃に関する業務(防火・救助訓練を含む) ・駐車・駐輪施設における自動車等の保管・安全誘導・満車時対応に関する業務 ・乗車・観光券等の発行、現金の出納及び保管に関する業務							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	松山城観光事業特別会計	款	索道運輸事業費	項	索道運輸事業費	目	運輸管理費	
事業費／財源		令和4年度		令和5年度		令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	委託料	235,752
予算 (千円)	事業費計	208,685	269,515	256,608						
	国費・県費									
	市債									
	その他	208,685	269,515	256,608						
一般財源										
決算 (千円)	事業費計	203,368	250,591			主な取組 内容 【R5】	索道事業について、令和5年度からは索道 運行受託者、指定管理者の2者が運用を行 う体制に変更した。 集客促進については、松山城でのイベント に合わせてロープウェイの夜間特別営業を 行った。			
	国費・県費									
	市債									
	その他	203,368	250,591							
	一般財源									
	(執行率)	97%	93%							
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項				
	その他									
	合計	1.0	1.0	1.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	365	366	365	365	休業なく営業できたことにより目標を達成した。	
			実績	364	366				
	現状維持	日	達成率	99.7%	100%				
成果指標	旅客運輸使用料		目標	295,303	295,303	295,303	295,303	観光客増加に伴い目標を達成した。	
			実績	239,486	302,851				
	単年で増	千円	達成率	81.1%	102.6%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	活動指標については、ロープウェイ・リフトの休業が無かったため。成果指標については、新型コロナウイルス感染症拡大前(平成30年度)と比較し、100%以上に増加しているため。							
課題	索道事業について、令和5年度からは索道運行受託者、指定管理者の2者が運営を行う体制に変更していることから、安全・安心に施設を利用していただけるよう、市を含めた3者で連携し事業を継続していく。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	索道事業について、令和5年度から索道運行受託者、指定管理者の2者が運営を行う体制に変更しているが、業務内容に変化はないため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	岡本 徹也	担当	須田 大介	江原 晶彦	

1.事業概要【Plan】

事業名	索道施設維持管理事業		事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32221								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			—	—	—	—	
施策	観光産業の振興							
主な取組	受入体制の整備		根拠法令	地方公営企業法、松山城山索道条例				
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	松山城ロープウェイ・リフト施設等の補修の必要な箇所を点検・改修等工事を行うことにより、安全を確保し、乗客の確実な輸送に努めることを目的とする。昭和30年8月に松山城ロープウェイを開通し、取り組みを開始した。							
対象・内容	対象:松山城ロープウェイ・リフト及び付随施設(駅舎・駐車場) 内容:平成20年度から指定管理者制度を導入していたが、令和5年度からは指定管理者ではなく、索道運行受託者が施設の維持・管理を行う体制に変更している。大規模な改修については、本事業から松山市が直接実施している。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	松山城観光事業特別会計	款	索道運輸事業費	項	索道運輸事業費	目	運輸事業費	
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	工事請負費		83,703	
予算 (千円)	事業費計	80,866	104,870	10,222			委託料	1,594		
	国費・県費							旅費	10	
	市債									
	その他	80,866	104,870	10,222						
一般財源										
決算 (千円)	事業費計	61,525	85,307			主な 取組 内容 【R5】	ロープウェイ・リフトの点検・改修等工事を行うことにより、安全を確保し、乗客の確実な輸送に寄与した。 令和5年度は、ロープウェイ客車更新その他工事等を実施した。			
	国費・県費									
	市債									
	その他	61,525	85,307							
	一般財源									
	(執行率)	76%	81%							
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項				
	その他									
	合計	1.0	1.0	1.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	365	366	365	365	休業なく営業できたことにより目標を達成した。	
			実績	364	366				
	現状維持	日	達成率	99.7%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	ロープウェイ・リフトの休業が無かったため。							
課題	令和5年度以降は指定管理者ではなく、索道運行受託者が施設の維持・管理を行う体制に変更していることから、安全・安心に施設を利用していただけよう、索道運行受託者と連携し事業を継続していく。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度から索道運行受託者が施設の維持・管理を行う体制に変更しているが、業務内容に変化はないため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	岡本 徹也	担当	須田 大介	江原 晶彦	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山城管理事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	3:指定管理	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	地方公営企業法、松山城天守閣条例、松山城天守閣条例施行規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	重要文化財・松山城の魅力を高めるとともに、観光客の利便性を図るなど、松山城の運営・管理を行うことを目的とする。1923年(大正12年)、松山城(本丸)が旧藩主家の久松家へ払下となり、そのまま松山市に寄贈され、以降、松山市の所有となっている。						
対象・内容	松山城の運営・管理について、平成20年度から指定管理者制度を導入し、運営・管理している。 ・来客の安全確保・観光案内に関する業務 ・集客促進及び苦情処理に関する業務 ・官公庁・旅行代理店、その他外部との連絡調整に関する業務 ・観覧券等の発行に関する業務 ・施設の防災・警備及び清掃に関する業務(防火・救助訓練を含む) ・施設の整備及び保守に関する業務 ・現金の出納及び保管に関する業務						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	松山城観光事業特別会計	款	松山城管理費	項	松山城管理費	目	松山城管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	指定管理料等の委託料		140,193
予算 (千円)	事業費計	138,149	180,472	170,463			広告料等の役務費		6,147
	国費・県費						松山春まつり(お城まつり)等の負担金補助及び交付金		1,548
	市債								
	その他	138,149	180,472	170,463					
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	126,100	149,646			主な 取組 内容 【R5】	指定管理者による施設の管理運営を実施した。 令和5年12月から令和6年2月にかけて、ARフォトスポットラリー等の集客促進事業を開催した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	126,100	149,646						
	一般財源								
	(執行率)	91%	83%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	364	365	364	364	休業なく営業できたことにより目標を達成した。	
			実績	363	365				
	現状維持	日	達成率	99.7%	100%				
成果指標	城郭観覧手数料		目標	217,000	217,000	217,000	228,796	観光客増加に伴い目標を達成した。	
			実績	181,070	223,388				
	単年で増	千円	達成率	83.4%	102.9%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	活動指標については、松山城天守の休業が無かったため。成果指標については、新型コロナウイルスの感染法上の5類移行等に伴い観光客が増加したため。							
課題	令和5年度からは指定管理者が変更しているため、安全・安心に施設を利用していただけるよう、指定管理者と連携し、施設を運営していく。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度から指定管理者が変更しているが、施設の管理・運営等の業務内容に変化はないため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	八木 俊宏	安井 李江

1.事業概要【Plan】

事業名	観光誘客・観光おもてなし事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32222							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの心の醸成						
目的・背景	観光客の松山旅行に対するイメージアップを図るため、観光PR力の向上とまち全体の「おもてなし」風土の醸成を図ることを目的とする。						
対象・内容	道後地域の小学生を対象に「まつやま観光キッズ」に任命したり、商工会議所や松山大学等との連携により学生及び一般市民を対象としたふるさと松山を学ぶ講座を開講したりするなど、松山の魅力を発信できる人材を育成する。 また、グレーターしまなみ・えひめ推進協議会の一員として、松山市の多彩な体験型コンテンツや温泉・宿泊施設等との更なる連携を推進し、しまなみ海道を活用して広島県側からの人流を引き込み、通過型から滞在型観光への転換を促進する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	グレーターしまなみ・えひめ推進協議会負担金		1,775
予算 (千円)	事業費計	22,600	2,085	2,807			ふるさとふれあい塾負担金		109
	国費・県費	20,750					消耗品費		29
	市債								
	その他	213							
	一般財源	1,637	2,085	2,807					
決算 (千円)	事業費計	18,056	1,938			主な取組 内容 【R5】	・グレーターしまなみ・えひめ推進協議会の事業として、民間事業者への補助金支給、デジタルスタンプラリー、自転車振興に関するイベントの実施 ・まつやま観光キッズの任命、活動を実施 ・ふるさとふれあい塾の実施		
	国費・県費	17,029							
	市債								
	その他	65							
	一般財源	962	1,938						
	(執行率)	80%	93%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	ふるさとふれあい塾 講義数	回	目標	12	12	12	12	関係者との連携により、目標を達成することができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100%				
成果指標	松山観光文化コンシェル ジェ中級認定数	人	目標	180	180	180	180	新型コロナウイルス感染症をきっかけに対面とオンラインを併用して実施しているため、認定条件を満たす受講者が減少している。	
			実績	90	118				
	単年で増	人	達成率	50.0%	65.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	4年ぶりにまつやま観光キッズの活動を実施し、松山の魅力を発信する人材の育成に寄与できた。 また、グレーターしまなみ・えひめ推進協議会の事業として、民間の自転車事業者への補助金支給や、自転車振興に関するイベントを実施し、事業者との連携や滞在型観光への転換促進に寄与できた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光PRの向上とまち全体の「おもてなし」風土の醸成を図る。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986	
部長等名	西村 秀典	課等長名	村上 暢章	リーダー	二宮 誠二	担当	池田 剛典	

1.事業概要【Plan】

事業名	クルーズ船誘致・受入推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32233							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠法令	無し				
取組みの柱	団体旅行の誘致促進						
目的・背景	[目的]松山港に寄港するクルーズ船を誘致するために、外国の船会社に対する商談会に参加し、松山市の魅力をPRするとともに、寄港するクルーズ船に対して、歓迎セレモニー等おもてなしを実施することで乗員乗客の満足度向上を図り、本市への再訪に繋げる。 [背景]全国的なクルーズ船の運航が増加する中で、本市への寄港誘致を行い、観光交流人口の増加を図る目的で平成30年度に事業化した。						
対象・内容	[対象]松山港に寄港するクルーズ船及び船会社。 [内容]松山港に寄港するクルーズ船に対して、会場設営や観光案内などを設置し、おもてなしを行う。 また、クルーズ船の誘致のために、先進市の取組み等の情報収集に努め、港湾管理者である愛媛県や関係団体と連携を図り、商談会へ積極的に参加し、PRを行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費		
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	委託料		9,775		
予算 (千円)	事業費計	13,149	12,507	32,191			旅費	860			
	国費・県費							手数料	24		
	市債										
	その他	11,824	11,003	19,445							
	一般財源	1,325	1,504	12,746							
決算 (千円)	事業費計	2,813	10,659			主な取組 内容 【R5】	R5.5.27・6.5 MSCベリッシマ受入 R5.6.14・29シーニック・エクリプス受入 R5.9.30コーラル・アドベンチャラー受入				
	国費・県費		5,329								
	市債										
	その他	2,806	4,800								
	一般財源	7	530								
	(執行率)	21%	85%								
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項	アフターコロナにより、クルーズ船の寄港、意見交換会・商談会の開催が増加し、昨年度に比べ予算執行率が大幅に上昇した。				
	その他	0.0	0.0	0.0							
	合計	0.6	0.6	0.6							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	クルーズ船意見交換会参加、視察受け入れ回数	目標	5	5	5	5	アフターコロナにより、商談会・意見交換会の参加機会が大幅に増加した。寄港数の増加に向け、積極的な参加を続け成果に繋げていく。		
		実績	1	6					
		単年で増	回	達成率	20%	120%			
成果指標	クルーズ船受入数	目標	1	4	5	5	昨年度3月のダイヤモンドプリンセス寄港を始め複数回クルーズ船の受入を行うことができた。次年度も既に寄港が決定している船もあり、新規・既存ともに引き続き誘致を行っていく。		
		実績	1	5					
		単年で増	隻	達成率	100%	125%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	アフターコロナに伴い、大きな経済波及効果が期待できるため、商談会、意見交換会の積極的な参加により、受入体制を充実させクルーズ船の寄港が昨年度に比べ大幅に増加した。							
課題	・愛媛県や関係団体との連携強化。 ・先進市の取り組み等の情報収集。 ・松山市ならではのおもてなしの実施。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	アフターコロナに伴い今後、クルーズ船寄港の増加が更に見込まれる。寄港時の乗客の満足度を高めるため、おもてなしの充実を図り、本市への再訪を促す。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	片坐 美乃	的場 愛子

1.事業概要【Plan】

事業名	観光WEBプロモーション事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32231							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	—	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠法令					
取組みの柱	メディア等の有効活用						
目的・背景	松山市の観光情報をWEBサイト「四国松山 瀬戸内松山」等を用いて発信し、当該サイトへのアクセス件数を向上させ、観光都市としての松山市の認知度向上に努めながら誘客を図り、観光産業の振興及び地域経済の発展に資する。インバウンド需要等の高まりから、平成27年度事業により、日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字)・中国語(簡体字)の5言語に対応した観光情報専用WEBサイトを新規構築した。平成30年度から、Instagram公式アカウントも開設した。						
対象・内容	委託事業者に委託料を支出し、松山市観光WEBサイト「四国松山 瀬戸内松山」・Instagram「四国松山 せとうち松山」の運営管理等を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委託料		5,969
予算 (千円)	事業費計	15,031	5,995	5,791					
	国費・県費	5,848	2,997	2,895					
	市債								
	その他								
	一般財源	9,183	2,998	2,896					
決算 (千円)	事業費計	14,982	5,969			主な 取組 内容 【R5】	委託事業者への委託により、WEBサイト及びInstagramの運営・保守・管理・更新を行った。		
	国費・県費	7,491	2,984						
	市債								
	その他								
	一般財源	7,491	2,985						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.7	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	特集記事掲載数		目標	35	39	43	47	毎年継続して特集記事を新規に掲載することで掲載数を増やしている。	
			実績	36	40				
	累計で増	記事	達成率	102.9%	102.6%				
成果指標	サイト閲覧数		目標	800,000	800,000	800,000	800,000	観光需要が増加しサイトのPV数に繋がったと考えられる。	
			実績	1,155,377	1,079,961				
	単年で増	PV	達成率	144.4%	135.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	目標であった80万PVを達成することができたため。							
課題	観光需要は変化が激しいため、常に観光をとりまく状況の変化を確認しながら需要に応じた発信を続ける必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	WEBサイト等を適正に運営して誘客につなげることで観光事業の発展や地域振興に寄与しているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986	
部長等名	西村 秀典	課等長名	村上 暢章	リーダー	二宮 誠二	担当	池田 剛典	

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (多言語パンフレット作成)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
32232							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠 法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	松山市の観光施設、イベント、特産品といった観光情報を、外国人観光客に対して分かりやすく効果的に発信するため、観光パンフレットを多言語(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)で作成し、配布する。 本市を訪れる外国人観光客の受入環境整備を目的とし、以下のとおり配布を開始した。 ・英語版:平成27年4月～ ・中国語(繁体字)版:平成28年3月～ ・韓国語版:平成29年4月～ ・中国語(簡体字)版:平成30年11月～						
対象・内容	対象:本市を訪れる外国人観光客等 事業内容:観光パンフレットを多言語(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)で作成し、市内の交通結節点や観光案内所等で配布する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山市観光パンフレットの印刷製本費		363
予算 (千円)	事業費計	1,419	1,820	1,800			松山市多言語版観光パンフレット制作業務委託料		1,771
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,419	1,820	1,800					
決算 (千円)	事業費計	1,199	2,134			主な 取組 内容 【R5】	松山市観光パンフレット(英語・繁体字・簡体字・韓国語)の印刷・製本		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,199	2,134						
	(執行率)	84%	117%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	多言語パンフレット配布数		目標	80,000	80,000	40,000	40,000	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除に伴い旅行者が増え、配布数が前年度に比べ大きく増加した。
			実績	15,716	40,516			
	単年で増	部	達成率	19.6%	50.6%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除に伴い、令和5年度は多くの外国人旅行者が来松した。その結果、パンフレットの配布数が前年度に比べ大幅に増え、観光施設等からの送付依頼も増加した。また、JNTOの海外事務所等へのパンフレット送付も継続し、現地で配布いただくことで松山市のPRに寄与している。						
課題	観光需要の回復に伴い、パンフレット配布による観光客の更なる増加を図る。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	国際線の運航再開により、本市を訪れる観光客が増加していることから継続する。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986	
部長等名	西村 秀典	課等長名	村上 暢章	リーダー	二宮 誠二	担当	池田 剛典	

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (国際観光振興機構負担金)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
32232							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠 法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	・海外へのPRによる本市の認知度向上及び誘客促進を図るため、独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)の賛助会員となり、海外事務所へのパンフレットの送付を行うとともに、当機関が会員向けに公開しているマーケティングデータなど、インバウンドに関する情報を入手する。 ・平成21年度から独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)の海外事務所のネットワークを活かし、海外へのPRによる本市の認知度向上及び誘客の促進を図るため、賛助会員となり負担金の支出を行っている。						
対象・内容	対象:独立行政法人国際観光振興機構(JNTO) 事業内容:賛助会員となるために必要な負担金を支出し、海外事務所へのパンフレットの送付を行うとともに、当機関が会員向けに公開しているマーケティングデータなど、インバウンドに関する情報を入手する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	国際観光振興機構に対する負担金		300
予算 (千円)	事業費計	300	300	300					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	300	300	300					
決算 (千円)	事業費計	300	300			主な 取組 内容 【R5】	・負担金の支出 ・海外事務所へのパンフレット送付 ・マーケティングデータ等の収集・分析		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	300	300						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	海外事業所へのパンフレット送付数		目標	6,500	6,500	6,500	6,500	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、旅行客が増えたことに伴い、海外事務所へのパンフレット配布数が前年度に比べ増加したが、目標には届かなかった。	
			実績	745	980				
	単年で増	部	達成率	11.5%	15.1%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が解除され、旅行客が大幅に増加した。それに伴い、JNTO海外事務所へのパンフレット配布数も前年度に比べ増加しており、さらなる本市のPRに寄与した。							
課題	JNTO海外事務所のパンフレット配布数が各事務所ごとに決まっているが多くないため、どこまでPRに寄与できるかが重要になる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	国際線の運航が再開され、本市を訪れる観光客が増加していることから継続する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986	
部長等名	西村 秀典	課等長名	村上 暢章	リーダー	二宮 誠二	担当	池田 剛典	

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (松山空港利用促進協議会負担金)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32232							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	・松山－台北線を利用したインバウンド利用の増加による、台湾からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とし、現地の旅行会社や個人旅行者への各種プロモーションを実施するとともに、松山－台北線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布、無料バスの運行等により観光客の利便性・満足度を向上させることで同線の安定運航を図る。 ・令和元年の松山－台北線の就航にあたり、安定的な運航を確保するため、松山市空港利用促進協議会(事務局:愛媛県)が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。						
対象・内容	松山市空港利用促進協議会に対し負担金を支出し、現地の旅行会社や個人旅行者への各種プロモーションを実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山空港利用促進協議会 に対する負担金		31,523
予算 (千円)	事業費計	10,222	32,947	84,991					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	10,222	32,947	84,991					
決算 (千円)	事業費計	11,346	31,523			主な 取組 内容 【R5】	・旅行会社や個人旅行者への各種プロモーション		
	国費・県費	3,182							
	市債								
	その他								
	一般財源	8,164	31,523						
	(執行率)	111%	96%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山空港降客数(松山-台北線)(年集計)		目標	10,000	10,000	10,000	10,000	新型コロナウイルス感染症の影響による長期間の運休で目標に達しなかったが、令和6年3月から松山ー台北線が再開したため今後の客数の増加が見込まれる。	
			実績	0	3,817				
	単年で増	人	達成率	0%	38.2%				
成果指標	台湾からの観光客数(年:推定値)		目標	72,000	72,000	72,000	72,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が続いたため目標に達しなかった。	
			実績	1,800	57,200				
	単年で増	人	達成率	2.5%	79.4%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により渡航制限が続いていたため、松山空港降客数は大きく増加はしなかった。しかし、陸路を通じての観光客数は増加しており、また令和6年3月より松山ー台北線が再開されたため、今後大きく回復していくと見込まれる。							
課題	松山ー台北線の安定運航と搭乗率の維持					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山ー台北線の運航が再開されたことにより、今後の観光客数の増加が見込まれるため継続する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986	
部長等名	西村 秀典	課等長名	村上 暢章	リーダー	二宮 誠二	担当	池田 剛典	

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (愛媛・韓国経済観光交流推進協議会負担金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32232								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	－	○	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠 法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	・松山－ソウル路線の利用の増加による、韓国からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とし、韓国メディア・旅行会社の招聘や現地でのPR等を実施することで、同線の安定運航を図る。 ・松山－ソウル線の安定的な運航と同路線の活用による県内産業の振興を図ることを目的として、平成12年に「愛媛・韓国経済観光交流推進協議会」(事務局:愛媛県)が発足し、協議会が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。							
対象・内容	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に負担金を支出し、韓国メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等の事業を実施する。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	愛媛・韓国経済観光交流 推進協議会に対する負担 金		87,185
予算 (千円)	事業費計	21,014	96,605	171,276					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	21,014	96,605	171,276					
決算 (千円)	事業費計	7,061	87,185			主な 取組 内容 【R5】	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に負担 金を支出し、韓国メディア・旅行会社等の招 聘や現地でのPR等の事業を実施した。		
	国費・県費	7,061	30,535						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	0	56,650						
	(執行率)	34%	90%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項	アフターコロナによるソウル線の就航の結 果韓国人観光客が増加した。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山空港降客者数(松山-ソウル線)(年集計)		目標	10,000	30,000	50,000	50,000	松山ーソウル線再開により、韓国人旅行者が大幅に増加した。	
			実績	0	99,867				
		単年で増	人	達成率	0%	332.9%			
成果指標	韓国からの観光客数(年:推定値)		目標	30,000	30,000	30,000	30,000	渡航制限が緩和されたため、韓国からの旅行者が大幅に増加した。	
			実績	1,500	86,400				
		単年で増	人	達成率	5%	288%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	松山-ソウル線が令和5年3月26日から再開され、10月からの増便の後押しもあり韓国人観光客が大幅に増加した。							
課題	松山ーソウル線の安定運航と搭乗率の更なる増加					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山ーソウル線便数増加に伴い、旅行者数も増加傾向にある。愛媛県と連携し更なる認知度向上や観光案内強化を行い、外国人観光客の誘客促進に取り組む。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986	
部長等名	西村 秀典	課等長名	村上 暢章	リーダー	二宮 誠二	担当	池田 剛典	

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32232							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	・愛媛県や松山市を含む県内市町の認知度向上及び外国人観光客の誘致を目的とし、海外メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等を実施するとともに、県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修等の実施により、外国人観光客に対するホスピタリティの向上を図る。また、松山－上海線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布等により同線の安定運航を図る。 国際観光の振興を目的として平成12年に「愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会(事務局:愛媛県)」が発足し、協議会が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。						
対象・内容	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会に負担金を支出し、海外メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR、県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修及び松山－上海線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布等の事業を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会に対する負担金		22,864
予算 (千円)	事業費計	14,928	24,644	22,354					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	14,928	24,644	22,354					
決算 (千円)	事業費計	11,346	18,713			主な 取組 内容 【R5】	・中国及びベトナムでの各種プロモーション		
	国費・県費	3,182	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	8,164	18,713						
	(執行率)	76%	76%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山空港降客数(松山-上海線)(年集計)		目標	10,000	10,000	10,000	10,000	上海線の運休が継続しており目標に達しなかった。	
			実績	0	0				
	単年で増	人	達成率	0%	0%				
成果指標	中国・香港からの観光客数(年:推定値)		目標	20,000	20,000	20,000	20,000	アフターコロナで観光需要の回復に加え、プロモーションを行った結果目標の達成に繋がった。	
			実績	0	25,700				
	単年で増	人	達成率	0%	128,5%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	松山－上海線の運休は続いているものの、中国からの旅行者は大幅に回復しつつある。							
課題	松山－上海線の運休は続いている。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山－上海線の再開に向け、更なる観光客増加に対応できるよう継続する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	菅 潤治	リーダー	青野 寛子	担当	正岡 優希	山内 翼

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (台湾友好交流事業)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
32232							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠 法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	台北市との友好交流協定をきっかけとした取り組みにより台北市との交流を進展させる。 本市では、台北市と松山区や松山空港、松山駅など、漢字で同じ“松山”の名称を持ち、また、松山市には道後温泉、台北市には北投温泉というともに最古といわれる温泉を有することなどを縁として、平成21年度から台北市との観光交流を始めた。						
対象・内容	対象:台湾からの外国人観光客 実施内容:台北市をメインターゲットとして、現地での各種イベントに観光PRブースを出展するとともに、両市民を対象とした相互誘客キャンペーンを実施するなど交流推進・観光客誘致に向けた取り組みを行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	台北市との交流打合せ等 に伴う普通旅費		6,037
予算 (千円)	事業費計	5,963	10,422	26,905			台北市との交流打合せ等 に伴う手数料		1,567
	国費・県費						友好交流協定締結10周年 関係等の委託料		932
	市債								
	その他								
	一般財源	5,963	10,422	26,905					
決算 (千円)	事業費計	5,889	10,343			主な 取組 内容 【R5】	・ランタンフェスティバル出展などの友好交 流協定10周年関連事業の実施 ・台北市で行われるイベント等での観光PR ・松山-松山チャーター運航実施に向けて愛 媛県等の関係機関と連絡・調整を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,889	10,343						
	(執行率)	99%	99%						
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記 事項			
	その他								
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント等での観光PR 出展数		目標	3	3	6	6	予定していたイベントへ出展し、本市のPR をすることができた。	
			実績	3	5				
	単年で増	回	達成率	100%	166.7%				
成果指標	台湾からの観光客数 (年:推定値)		目標	72,000	72,000	72,000	72,000	観光PRによる効果及び新型コロナウイルス 感染症の5類移行に伴い、観光需要が一 定戻ったが、目標には届かなかった。	
			実績	1,800	57,200				
	単年で増	人	達成率	2.5%	79.4%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	成果指標の目標には届かなかったが、台北市との友好交流協定10周年記念事業などの交流促進や観光PRに伴い、台湾からの観光 客数増加に寄与した。							
課題	台北市との交流活動を通じて、観光客数を増加させコロナ禍前の水準 まで回復させる。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き台北市との交流を深め、交流人口 の拡大につなげる。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	菅 潤治	リーダー	青野 寛子	担当	正岡 優希	山内 翼

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (ホストタウン事業)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
32232							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	—	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠 法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	東京オリンピック・パラリンピック競技大会で本市が台湾のホストタウンとして登録されたことを受け、台湾や台北市との交流を推進する。 ・本市では、台北市と松山区や松山空港、松山駅など、漢字で同じ“松山”の名称を持ち、また、松山市には道後温泉、台北市には北投温泉というともに最古といわれる温泉を有することなどを縁として、平成21年度から台北市との観光交流を始めた。 ・平成28年12月に愛媛県と共同で東京オリンピック・パラリンピック競技大会で本市が台湾のホストタウンとして登録された。 ・令和元年に松山—台北線が就航した。						
対象・内容	対象:台湾との交流 事業内容:ホストタウン登録されていた台湾でのスポーツ関連イベントで本市の観光PRを行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	台北マラソンブース出展 等に伴う普通旅費		742
予算 (千円)	事業費計	1,263	1,061	1,860			台北マラソンブース出展 等に伴う手数料		212
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,263	1,061	1,860					
決算 (千円)	事業費計	424	1,038			主な 取組 内容 【R5】	・ホストタウンイベントや台湾で行われるス ポーツイベント等での観光PR		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	424	1,038						
	(執行率)	34%	98%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	イベント等での観光PR出 展数		目標	4	4	4	3	ブース出展場所の新規開拓を試みたが、新 型コロナウイルス感染症等の影響により、 目標には届かなかった。	
			実績	2	2				
	単年で増	回	達成率	50.0%	50.0%				
成果 指標	スポーツイベント等での 観光PRブース来場者数		目標	2,200	2,200	2,200	2,200	悪天候により、来場者が少ない日があった ため。	
			実績	2,500	2,000				
	単年で増	人	達成率	125.0%	90.9%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	成果指標の目標には届かなかったが、効果的な観光PRブースの出展により、松山の知名度向上につなげたため。							
課題	スポーツイベント等での観光PRブースで、イベントの実施だけでなく、 インスタグラムへのフォローを促すなどし、松山市の魅力を発信する。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き台北市との交流を深め、交流人口 の拡大につなげる。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	片坐 美乃

1.事業概要【Plan】

事業名	(公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32232							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	－	－	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠法令	松山市補助金等交付規則				
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	観光客及び国内・国際コンベンションの誘致支援等を行い、松山市の観光・物産及びMICEの振興を図るには、行政のみでは対応が困難な事案もある。そこで、国内外に向けた観光キャンペーンや国際交流事業、MICEの誘致活動と開催支援を効果的に実施することができる協会への補助金が必要不可欠である。						
対象・内容	以下の事業を実施する(公財)松山観光コンベンション協会に運営補助金を支出 ①観光・物産振興のために行う事業の企画、実施、支援に関すること。 ②MICE振興のために行う事業の企画、実施、支援に関すること。 ③PR商品の販売等に関すること。 ④その他この法人の目的達成に必要な事業						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	補助金		248,625
予算 (千円)	事業費計	192,974	256,598	191,553					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	192,974	256,598	191,553					
決算 (千円)	事業費計	173,570	248,625			主な取組 内容 【R5】	・2023台北温泉まつりへの出展および道後神輿4基の派遣 ・台北ランタンフェスティバルへの出展 ・仙台市での物産と観光展の開催 ・コンベンション誘致活動として、IME2024への出展や中四国・7都市など懇談会の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	173,570	248,625						
	(執行率)	90%	97%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	コンベンション誘致セー ルス活動件数		目標	220	230	250	250	誘致可能なコンベンションの減少により訪 問対象が減少したため	
			実績	94	148				
	単年で増	件	達成率	42.7%	64.3%				
成果指標	コンベンション助成金の 交付件数		目標	25	35	35	35	助成予定していたコンベンションについて、 実績報告により条件を満たさなかったもの があったため	
			実績	26	32				
	単年で増	件	達成率	104.0%	91.4%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	・コンベンション協会として、事業の成果は一定あげられたものの、コンベンションに関する件数が目標に達しなかったため。							
課題	・人件費や物価の高騰による補助金の増額					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	松山観光コンベンション協会は観光振興に 必要なため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曽根 貞行	リーダー	栗栖 洋平	担当	相原 健吾	大塚 壮輔

1.事業概要【Plan】

事業名	修学旅行誘致促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32233							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠法令					
取組みの柱	団体旅行の誘致促進						
目的・背景	【目的】中部・東海、関東、関西などの都市圏や、近隣の中四国、九州エリアを対象に、学校や旅行会社に対しての営業活動や、修学旅行業界紙、専門誌を活用した情報発信、体験メニューの開発を行い、修学旅行の誘致・定着を図る。 【背景】平日の旅行客が低迷しており、新たな団体旅行の確保が必要な中、解決策として大規模な平日の団体旅行客を確保できる修学旅行を誘致することとなった。						
対象・内容	【対象】中部・東海、関東、関西、中国、四国、九州などの学校 【内容】学校や旅行会社等に対し、戦略的な営業活動を行うことで、修学旅行のさらなる誘致・定着に努める。 1. パンフレットの見直し、ホームページの更新・維持管理 2. 戦略的・効果的な誘致活動の展開 3. 新たな体験メニューの開発・実施 4. 地元関係者が主体となった受入体制の構築 5. 交通動線の調整 6. ユニバーサル・ツーリズムの実現に向けた環境整備や周知啓発						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	修学旅行誘致助成やユニバーサルプロジェクト支援事業への負担金		6,165
予算 (千円)	事業費計	9,625	13,082	13,827			専用ウェブサイトの保守点検などの委託料		1,953
	国費・県費	3,969	5,864	6,236			営業パンフレットなどの印刷製本費		605
	市債								
	その他								
	一般財源	5,656	7,218	7,591					
決算 (千円)	事業費計	9,425	9,313			主な取組 内容 【R5】	・新たに松山市を旅行先とする学校の定着化		
	国費・県費	3,951	3,999				・宿泊施設と連携した受入体制の強化等		
	市債						・新たな体験メニューの開発・実施		
	その他						・ユニバーサルプロジェクトによる分科会の立上げや特別支援学校向けの事前学習資料の作成		
	一般財源	5,474	5,314						
	(執行率)	98%	71%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	修学教育旅行パンフレット掲載体験メニュー数		目標	65	65	80	80	SDGs関連メニューを継続し実施するほか、旅行会社からニーズの多い体験型メニューの開発のために受入団体と調整を行ったため。	
			実績	70	76				
	単年で増	個	達成率	107.7%	116.9%				
成果指標	修学旅行受入校数		目標	150	110	110	110	体験メニューの開発や助成金制度の活用を行い戦略的・効果的な誘致活動を展開するも、旅行先を従来の方面に変更する学校が見られたため。	
			実績	186	102				
	単年で増	校	達成率	124.0%	92.7%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	修学旅行誘致は、コロナ禍で近隣県からの来松件数が急増し、令和2年度から3年度連続で過去最多を更新した。 令和5年度は、コロナ禍の収束に伴う旅行先の方面変更は見られるものの、コロナ禍前の受入数を上回る数字であり、魅力的な体験メニューやコース提案、新たな受入先の掘り起こし、リピーターの定着に努めた結果、効果的な修学旅行誘致を行うことができたため。							
課題	・広島市を含む周辺地域と連携した更なる修学旅行の誘致と定着化 ・誰もが安心して安全に参加・周遊できるユニバーサル型修学旅行の実施に向けた取り組み ・学習指導要領等の改訂によるニーズの変化					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	魅力的な体験メニューを開発・リニューアルし、継続的に提案することで、多様化するニーズへの対応し、修学旅行の誘致・定着を図るため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	片山 弘徳	安井 李江

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (広域観光連携推進協議会)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
32241							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	広域観光連携の推進	根拠 法令	なし				
取組みの柱	広域観光の振興						
目的・背景	松山市、東温市、砥部町及び各市町観光協会で構成する広域観光連携推進協議会は、観光客の増加及び滞在型観光を推進するため、相互に連携を図り、宣伝、調査、誘客活動を行うことを目的とする。						
対象・内容	広域観光連携推進協議会負担金を支出し、観光PRイベントの出展やパンフレットの作成等とおして、2市1町への誘客を図る。 広域観光連携推進協議会にて、東温市にある西日本初の常設劇場「坊っちゃん劇場」や砥部町の伝統産業である「砥部焼」、松山市の観光資源等を連携させ、観光客の回遊を図り、観光客の増加及び滞在型観光を促進している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	広域観光連携推進協議会 への負担金		1,856
予算 (千円)	事業費計	2,223	2,174	1,943			イベント出展に係る普通 旅費		92
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,223	2,174	1,943					
決算 (千円)	事業費計	2,105	1,948			主な 取組 内容 【R5】	・広域周遊旅行商品造成促進事業(テストツ アーの実施) ・観光PRイベントへの出展(広島) ・観光パンフレット「EMOTABI」増刷発行 【7,000部】		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,105	1,948						
	(執行率)	95%	90%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	観光PRイベント出展		目標	3	3	3	3	令和5年度は2市1町の観光素材を体験するテストツアーを実施し、観光PRイベントへの出店は1回のみ実施したため。	
			実績	2	1				
	現状維持	回	達成率	66.7%	33.3%				
成果指標	松山市観光客推定数		目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、目標には届かなかったものの、コロナ禍前の9割程度まで観光客が回復した。	
			実績	4,785,600	5,555,500				
	現状維持	人	達成率	79.8%	92.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	広域周遊旅行商品造成促進事業として、航空事業者と連携して大都市圏の旅行会社を招聘し、2市1町の観光素材を体験するテストツアーを実施することで、旅行会社へ観光素材のPRを行い、旅行商品の造成につなげることができた。 また、広島みなとフェスタに観光PRブースを出展し、広島圏域での誘致宣伝を行うことで、効果的な周遊促進PRを実施し、2市1町への誘客に寄与できたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	2市1町が協力・連携して事業を実施し、広域観光の促進に寄与しているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	八木 俊宏	安井 李江

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (四国四市観光誘致促進協議会事業)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
32241							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	—	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	広域観光連携の推進	根拠 法令					
取組みの柱	広域観光の振興						
目的・背景	四国県都4市が連携しながら、相互の観光誘致活動を支援するとともに、それぞれの観光資源を活用しつつ、効果的な宣伝活動を展開し、四国への観光交流人口の増大及び地域の観光産業の振興に寄与することを目的とする。						
対象・内容	四国四市観光誘致促進協議会に負担金を支出し、共同観光キャンペーンを通して観光交流人口の増加を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	四国四市観光誘致促進協 議会 負担金		450
予算 (千円)	事業費計	528	526	640			普通旅費		90
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	528	526	640					
決算 (千円)	事業費計	515	540			主な 取組 内容 【R5】	・共同キャンペーンの実施 ・四国四市観光PR広告物の制作		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	515	540						
	(執行率)	98%	103%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項	普通旅費が増加したため、決算額が上回った。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	共同観光キャンペーン		目標	—	1	1	1	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、共同観光キャンペーンが再開されたため。	
			実績	—	1				
	単年で増	回	達成率	—	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	横浜赤レンガ倉庫で開催された「全国ふるさとフェア2023」に出展し、四国の魅力を広く発信することができた。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光プロモーションに取り組むことで、観光交流人口の拡大を目指す。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	安井 李江	八木 俊宏

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (四国観光立県推進愛媛協議会)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
32241							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	—	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	広域観光連携の推進	根拠 法令					
取組みの柱	広域観光の振興						
目的・背景	愛媛県・市・町及び観光協会をはじめとする民間団体と連携し、宣伝活動、誘客活動、受入体制整備などの各種事業を実施することで愛媛県のイメージアップと観光客の誘致に努めている。						
対象・内容	四国観光立県推進愛媛協議会に負担金を支出し、観光プロモーションや受入態勢整備を通して誘客促進を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	四国観光立県推進愛媛協 議会への負担金		1,209
予算 (千円)	事業費計	1,190	1,209	1,224					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,190	1,209	1,224					
決算 (千円)	事業費計	1,190	1,209			主な 取組 内容 【R5】	・全国旅行支援などによる宿泊代金の割引 事業 ・松山空港定期路線を活用した誘客促進事 業 ・専用ウェブページの運営及びPR記事更新		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,190	1,209						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	誘致拡大PR事業の数		目標	—	4	4	4	誘致拡大PR事業としての項目数は令和4年度を下回ったものの、その中で実施した取り組み数は増加した(令和4年度の取り組みは15、令和5年度の取り組みは20)。	
			実績	4	3				
	現状維持	件	達成率	—	75%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	県外のイベントで観光PRブースを出展や、松山空港・松山観光港の利用者に対する誘客アプローチを行ったほか、県内がロケ地であるドラマのロケ地ガイドの作成・配布、松山空港定期路線利用者を対象にした旅行商品造成を行うなど、きめ細やかな取り組みを実施し、誘客促進に繋げることができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光プロモーションに取り組むことで、観光交流人口の拡大を目指す。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	片坐 美乃

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業(観光交流事業)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32241							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	－	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	広域観光連携の推進	根拠法令	なし				
取組みの柱	広域観光の振興						
目的・背景	本市とのゆかりや深いつながりのある都市等との交流を通じ、本市の観光交流人口の拡大を図ることを目的とする。						
対象・内容	観光交流都市等(東松山市、新宿区、横須賀市、斑鳩町、熊本市、石川県、別府市)での観光PRイベントへのブース出展及び松山市発祥の「本家野球拳大会」の開催。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	普通旅費		757
予算 (千円)	事業費計	1,987	2,188	3,294			本家野球拳大会運営に 対する負担金		679
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,987	2,188	3,294		「ヒストリカル温泉道」達成者への 賞品製作費負担金		198	
決算 (千円)	事業費計	1,287	1,911			主な 取組 内容 【R5】	・観光交流都市でのイベントに参加し、観光 PRを実施したほか、ステージイベントにて 「本家野球拳大会」を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,287	1,911						
	(執行率)	65%	87%						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記 事項			
	その他								
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	誘致宣伝活動		目標	6	6	6	6	主催者側の都合により、参加できなかったイベントがあるため。	
			実績	4	5				
	現状維持	回	達成率	67.0%	83.0%				
成果指標	松山市観光客推定数		目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、目標には届かなかったものの、コロナ禍前の9割程度まで観光客が回復した。	
			実績	4,785,600	5,555,500				
	現状維持	人	達成率	79.8%	92.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	主催者側の都合により、参加できなかったイベントがあったものの、ブース出展により相互に交流することができ、効果的に松山市のPRを実施できたため。							
課題	今後も誘致宣伝活動を行うことで観光客数を増加させコロナ禍前の水準まで回復させたい。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光交流都市と連携し事業を進めていく。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	笠置 恵美

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(坊っちゃん列車維持改善事業費補助金)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32242		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興	根拠法令					
主な取組	広域観光連携の推進						
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進						
目的・背景	【目的】坊っちゃん列車の定期的な整備により、列車運行の安全性の維持を図る。 【背景】平成13年に運行を開始した本市の重要な観光資源である坊っちゃん列車の維持や安全運行に協力するため、平成28年度から補助金制度を開始した。						
対象・内容	【対象】伊予鉄道株式会社 【内容】補助金の交付を行うことにより、本市の観光振興に資する内燃機関車である「坊っちゃん列車」の定期的な整備及び改善を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	坊っちゃん列車の全般検査費用 に対する補助金		4,000
予算 (千円)	事業費計	4,000	4,000	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,000	4,000	0					
決算 (千円)	事業費計	0	4,000			主な 取組 内容 【R5】	・坊っちゃん列車の全般検査費用に対し、補 助金を滞りなく交付した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他		4,000						
	一般財源	0							
	(執行率)	0%	100%						
人役	正規職員	0.0	0.1	0.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.0	0.1	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	補助金交付回数		目標	-	1	0	0	・補助金を適正に交付した。	
			実績	-	1				
	現状維持	回	達成率	-	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・坊っちゃん列車の定期的な整備により、列車運行の安全性を維持することができたため。							
課題						今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	坊っちゃん列車の安全性の維持が必要であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE	連絡先	948-6555
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	栗栖 洋平	担当	大塚 壮輔

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (JR西日本西遊紀行プロジェクト)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
32242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	広域観光連携の推進	根拠 法令					
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進						
目的・背景	【目的】西日本旅客鉄道株式会社と連携し、東アジア(中国・台湾・香港)の個人旅行客をターゲットに、瀬戸内エリア及び山陰エリアの観光資源・ルートの整備、商品化及び海外向けにプロモーションを行うことで、当該地域の認知度向上を図り、誘客を促進するため。 【背景】瀬戸内及び山陰地域は、多様な観光資源を有するものの、海外での知名度は必ずしも高くなく、外国人宿泊客数も他エリアと比べると少ない状況にある。そこで、関西から西の、瀬戸内と山陰エリアの観光ルートを整備して認知度を高めるため、当該観光ルートを「西遊紀行」と称し、鉄道事業者と関係自治体等とが連携して行う事業「西遊紀行プロジェクト」が発足した。						
対象・内容	【対象】西日本旅客鉄道株式会社 【内容】訪日外国人向けオンライン旅行会社に西遊紀行エリア(瀬戸内及び山陰地域)特集ページを設置し、エリア内の観光コンテンツを販売することで、東アジア(台湾、香港、中国)を対象に誘客を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	JR西日本西遊紀行プロ ジェクトに対する負担金		157
予算 (千円)	事業費計	240	240	240					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	240	240	240					
決算 (千円)	事業費計	239	157			主な 取組 内容 【R5】	ラーチャーゴーを活用した情報発信やOTA (kkday)による販路整備により、西遊紀行 エリア(瀬戸内及び山陰エリア)の認知度向 上に努めた。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	239	157						
	(執行率)	100%	65%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	プロモーション		目標	3	3	3	3	情報発信を行い、西遊紀行エリアの認知度 向上に寄与した。	
			実績	3	3				
	単年で増	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果 指標	外国人観光客の入込客数 (年:推定値)		目標	310,000	310,000	310,000	310,000	目標未達成ではあるが、効果的なプロモ- ーションにより前年度の外国人観光客数を上 回った。	
			実績	17,400	216,100				
	単年で増	人	達成率	5.6%	69.7%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	外国人観光客数は目標値に届かなかったが、効果的なプロモーションにより西遊紀行エリアの認知度向上に寄与することができた ため。							
課題	・関係団体との連携強化 ・時代に適応した効果的なプロモーションの実施					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	関係団体と連携し、西遊紀行エリア(瀬戸内 及び山陰エリア)の認知度向上に努め、イン パウンド需要回復につなげるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	栗栖 洋平	担当	大堀 祐輝	瀬戸 美琴

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (瀬戸内・松山ツーリズム推進会議)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
32242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	広域観光連携の推進	根拠 法令					
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進						
目的・背景	【目的】 広島圏域の自治体、鉄道・船舶・航空事業者と連携し、広島地域及び松山地域の資源を生かしつつ、瀬戸内海が有する魅力を最大限に引き出しながら、広島地域と松山・愛媛を中核とした瀬戸内海及びその周辺を周遊する新しいツーリズムを創造するとともに、旅行市場への定着へ向けた戦略的なプロモーションを展開するなど広域的な観光産業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的としている。 【背景】 平成24年6月に、広島圏域(広島市・呉市・廿日市市)の自治体や鉄道(JR四国、JR西日本)・船舶会社(瀬戸内海汽船、石崎汽船)と「瀬戸内・松山ツーリズム推進会議」を設立した。						
対象・内容	【対象】 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議 【事業内容】 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議へ負担金を支出し、観光誘客促進を実施する ・旅行会社向けの旅行商品造成の拡充 ・広島圏域の自治体や交通事業者と連携した国内向けプロモーション ・広島圏域の自治体と連携した修学旅行の誘致活動						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	瀬戸内・松山ツーリズム 推進会議への負担金		24,967
予算 (千円)	事業費計	28,200	28,700	25,358					
	国費・県費	14,100	13,750	12,258					
	市債								
	その他								
	一般財源	14,100	14,950	13,100					
決算 (千円)	事業費計	28,200	24,967			主な 取組 内容 【R5】	・航空事業者と連携した旅行会社向けテストツアーや観光商品説明会、商談会の開催 ・助成金(旅行商品造成・修学旅行)の支出 ・九州地域でのプロモーション事業		
	国費・県費	9,364	12,417						
	市債								
	その他								
	一般財源	18,836	12,550						
	(執行率)	100%	87%						
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	旅行商品造成助成金交付 申請件数	目標	20	20	20	20	観光商品説明会などの効果で申請件数を増加させた。		
		実績	22	25					
	単年で増	件	達成率	110.0%	125%				
成果 指標	観光客推定数	目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	目標未達成であるが、旅行需要が回復基調となる中で、九州地域でのサンプリングなど効果的なプロモーションにより、前年度観光客数を上回ることができた。		
		実績	4,785,600	5,555,500					
	単年で増	人	達成率	79.8%	92.6%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	瀬戸内・松山ツーリズム推進会議の会員団体である広島県域の自治体、鉄道・船舶事業者と連携し、事業実施の方法等を柔軟に判断することで、当初の計画通り事業を実施することができた。							
課題	・関係自治体や交通事業者と連携強化 ・時代に適応した効果的なプロモーションの実施					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	連携自治体や交通事業者の強みを活かした事業を展開し、更なる観光客誘致につなげていくため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE	連絡先	948-6555		
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	栗栖 洋平	担当	大堀 祐輝	瀬戸 美琴	

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (負担金・補助金除く)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
32242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	広域観光連携の推進	根拠 法令					
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進						
目的・背景	観光戦略である「瀬戸内・松山構想」を実現するため、大都市圏の旅行市場に対して、松山着地商品の造成・販売及び旅行会社による旅行商品の造成・販売を促進し、誘客に繋げるとともに、瀬戸内・松山ツーリズムを展開することにより、広域的な観光産業の振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。						
対象・内容	・旅行商品の新規開発・販売促進、着地商品の管理・運営 ・松山市を中心に観光施設等を紹介する広告を松山空港案内所に掲出 ・雑誌広告の発刊						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	旅行商品化等事業業務委託料		7,148
予算 (千円)	事業費計	12,500	11,888	9,784			観光宣伝の広告料		2,766
	国費・県費	3,750	3,750	3,750			観光プロモーション等の 出張に係る普通旅費		1,167
	市債								
	その他								
	一般財源	8,750	8,138	6,034					
決算 (千円)	事業費計	11,508	11,490			主な 取組 内容 【R5】	・松山関連の着地商品の造成・販売促進 ・交通拠点である空港等への広告掲出 ・近県向けキャンペーン・プロモーション事業		
	国費・県費	3,506	3,574						
	市債								
	その他								
	一般財源	8,002	7,916						
	(執行率)	92%	97%						
人役	正規職員	1.3	1.3	1.3		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.3	1.3	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	プロモーション(空港看板・雑誌広告発刊等)		目標	4	4	4	4	目標未達成であるが、経費の削減にも努めながら、より効果的な広告を抽出し、訪松者に対してプロモーションを行うことができた。	
			実績	3	2				
	単年で増	回	達成率	75.0%	50.0%				
成果指標	旅行商品販売実績		目標	6,000	6,000	6,000	6,000	関係団体と連携した旅行商品開発や既存商品のブラッシュアップを行い、誘客促進につなげることができたため。	
			実績	6,056	12,238				
	単年で増	人	達成率	100.9%	203.4%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	広告掲出数は減少したが、事業実施の方法等を柔軟に判断することで、当初の計画通り事業を実施することができた。							
課題	・関係機関との連携強化 ・瀬戸内周遊ならではのおもてなしを向上していくような事業の周知・内容の見直し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	大阪・関西万博を見据え、広島県や関西地域などを訪れる外国人観光客の誘客を図るとともに、鉄道・船舶事業者のほか、航空事業者とも連携し旅行商品を造成していくため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	栗栖 洋平	担当	大堀 祐輝	大塚 壮輔

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (JR四国協定負担金)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
32242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	広域観光連携の推進	根拠 法令					
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進						
目的・背景	【目的】JR四国と連携協定を締結し、「瀬戸内・松山構想」の実現に加え、持続可能な「観光未来都市まつやま」の推進を目指して、松山市の観光発展と交流人口の一層の拡大を目指すため。 【背景】平成21年のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の放送をきっかけに協定を締結し、瀬戸内・松山周遊ルートへの定着に向けた特別切符の発売や、交通広告を活用したプロモーションを通して、観光誘客を図っている。						
対象・内容	JR四国に負担金を支出し、以下の連携事業を実施。 ・「瀬戸内・松山構想」と「観光未来都市まつやま」を推進するための国内外プロモーション ・九州の旅行会社を対象とした視察ツアー ・俳句を題材としたツアー ・既存の観光素材の高付加価値化支援 ・観光列車を活用した地産地消推進キャンペーン						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	協定に基づくプロモーション事業への負担金		3,000
予算 (千円)	事業費計	5,200	3,000	3,000					
	国費・県費	2,600	1,500	1,500					
	市債								
	その他								
	一般財源	2,600	1,500	1,500					
決算 (千円)	事業費計	5,200	3,000			主な 取組 内容 【R5】	・台湾の旅行会社向けに観光体験ツアー及び地元観光事業者との商談会を実施 ・九州エリア発着の周遊型切符を通年設定		
	国費・県費	2,600	1,500						
	市債								
	その他								
	一般財源	2,600	1,500						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	JR四国との連携プロモーション		目標	14	14	14	14	協定ならではの連携事業を実施し、観光需要の下支えを図ることができた。	
			実績	18	14				
	単年で増	回	達成率	128.6%	100%				
成果指標	観光客推定数		目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	目標未達成であるが、旅行需要が回復基調する中で、効果的なプロモーションにより、前年度観光客数を上回ることができた。	
			実績	4,785,600	5,555,500				
	単年で増	人	達成率	79.8%	92.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	JR四国観光誘客パートナーシップ協定を締結しているJR四国との連携強化により、より効果的なプロモーションを共同で実施できたため。							
課題	・大阪・関西万博を見据えたインバウンド誘客の促進 ・九州の旅行会社への旅行商品造成意欲を向上させる事業の展開					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	関西圏や九州圏などからの誘客強化を図ることで、「瀬戸内・松山構想」及び「観光未来都市まつやま」の推進につなげるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE	連絡先	948-6555		
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	栗栖 洋平	担当	大堀 祐輝	瀬戸 美琴	

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (瀬戸内4県都市長会事業実行委員会)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32242		各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興	根拠法令					
主な取組	広域観光連携の推進						
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進						
目的・背景	【目的】瀬戸内の中心都市である岡山市、高松市、広島市、松山市の瀬戸内4県都市が、連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮することを目的としている。 【背景】瀬戸内の中心都市である岡山市・広島市・高松市・松山市の4市が連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮するため、平成27年度に当該委員会を設立した。						
対象・内容	瀬戸内の中心都市である岡山市・広島市・高松市・松山市の4市が連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮するため、平成27年度に当該委員会を設立した。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	実行委員会の事業実施に 対する負担金		996
予算 (千円)	事業費計	1,000	1,000	1,000					
	国費・県費		500	500					
	市債								
	その他								
	一般財源	1,000	500	500					
決算 (千円)	事業費計	1,000	996			主な 取組 内容 【R5】	・G7広島サミットでのプロモーションの実 施 ・周遊モデルツアーの開催及び訪日外国人 観光客に向けた情報発信		
	国費・県費		498						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,000	498						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	4市連携プロモーション		目標	2	2	2	2	4市で連携し周遊モデルツアーなどを開催することにより、ツアー体験記事や動画などで4市の観光資源の魅力を海外メディアに発信することができたため。	
			実績	2	2				
	単年で増	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	観光客推定数		目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	目標未達成であるが、旅行需要が回復基調となる中で、効果的なプロモーションにより、前年度観光客数を上回ることができた。	
			実績	4,785,600	5,555,500				
	単年で増	人	達成率	79.8%	92.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	観光客数の目標値には届かなかったが、瀬戸内の豊富な観光資源を活かして、国内観光客の誘客を行ったため。							
課題	・瀬戸内4県都市との連携強化 ・他自治体の取り組み等の情報収集・差別化 ・瀬戸内4県都市ならではの観光PRの実施					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	4市への来訪意欲を高め、さらなる誘客促進を図るため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	武井 昭憲	担当	安井 李江	高岡 理恵

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (にきたつの路日曜市開催事業)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
39999							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		—	—	—	—	
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令					
取組みの柱	その他						
目的・背景	平成17年7月から道後温泉の新たな魅力づくりのため実施。古くから観光客や市民に愛され続けている道後温泉の新たな魅力づくりとして「にきたつの路」で朝市を月1回開催し、道後地区の活性化を図ることを目的とする。						
対象・内容	負担金交付先 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会 毎月、第4日曜日に「道後にきたつの路」にて、道後の新たな魅力づくりの場を提供することを目的として、路上にて地元で採れた新鮮野菜や、手作りの弁当などを観光客に販売する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	実行委員会の事業実施に 対する負担金		540
予算 (千円)	事業費計	540	540	540					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	540	540	540					
決算 (千円)	事業費計	540	540			主な 取組 内容 【R5】	毎月第4日曜日に「道後にきたつの路」で朝 市を実施。 上記を行う交付先 道後にきたつの路日曜 朝市実行委員会に負担金を支出。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	540	540						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	朝市出店店舗 (テナント)		目標	200	200	200	200	新型コロナウイルス感染症対策が終了したことから、飲食系や出店を控えていた店舗の出店が増加したため。	
			実績	163	256				
	現状維持	張	達成率	81.5%	128%				
成果指標	にきたつの路日曜朝市 来場者数		目標	22,000	22,000	22,000	22,000	前年同月より来場者が多い月がほとんどだったが、悪天候のため来場者が少ない月があり、年間を通しての来場者数は目標を超えなかった。	
			実績	15,010	20,679				
	単年で増	人	達成率	68.2%	93.9%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	近隣の宿泊施設に案内や地図の掲出を依頼するなどの広報を実施し、宿泊客の誘導に努めたことで、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準に近い人数まで来客者数を戻すことができたことから、道後の魅力をさらに高め、交流人口の拡大に貢献しているため。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き道後の新たな魅力づくりの場を提供するとともに、道後の交流人口の拡大に向けて、朝市を継続して開催する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	片坐 美乃	

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (JR松山駅観光案内所業務)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
39999								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	その他			—	—	—		—
施策	その他							
主な取組	その他		根拠法令					
取組みの柱	その他							
目的・背景	JR松山駅観光案内所は陸の玄関口であるJR松山駅構内に設置しており、観光客の利便性の向上を図る。 JR松山駅は陸の玄関口として通勤・通学その他、観光客も多く利用することから、同施設内に観光案内所を設置することで観光客の利便性向上に繋げるため。							
対象・内容	JR松山駅観光案内所の光熱水料の支払・案内所の使用料の支払 観光客の窓口として観光案内及び宿泊所案内(松山観光コンベンション協会委託) 観光案内所は、JR松山駅構内にあり、JRの施設貸付の条件として市が直接借り受ける必要があることから市が賃貸借契約を結んでいる。また、同施設内の電気代についても松山市が負担している。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	観光案内所設置に伴う使用料及び賃借料		188
予算 (千円)	事業費計	257	257	6,215			観光案内所の光熱水費		40
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	257	257	6,215					
決算 (千円)	事業費計	229	228			主な 取組 内容 【R5】	JR松山駅観光案内所の光熱水料の支払・案内所の使用料の支払 観光客の窓口として観光案内及び宿泊所案内(松山観光コンベンション協会委託)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	229	228						
	(執行率)	89%	89%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	案内件数		目標	16,000	22,000	29,000	29,000	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、観光客数がコロナ禍前の9割程度まで回復した。	
			実績	19,218	20,329				
	単年で増	件	達成率	120.1%	92.4%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	観光客に対して、観光案内所としての用務を果たしているため。							
課題	JRの高架化にともない、新駅舎への移転を予定している。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光案内等を行い、観光客の利便性の向上を目指す。 JR松山駅観光案内所を維持・継続していく。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	片坐 美乃	

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (愛媛県観光物産協会運営事業)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
39999							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		—	—	—	—	
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令					
取組みの柱	その他						
目的・背景	愛媛県観光物産協会は愛媛県の観光客誘致促進、観光物産・観光振興などの中核的機関として位置づけられているため、愛媛県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図り、併せて国民の健全な観光旅行の普及発展と国際観光の振興を促すとともに、県産品の紹介宣伝、販路拡大、品質改善等を行うことにより、国民の生活、文化及び経済の向上発展、国際親睦並びに愛媛県産業の振興と県民福祉の向上に寄与することを目的とする。						
対象・内容	交付先: (一社)愛媛県観光物産協会 松山市他全19市町及び観光協会、物産協会、商工会議所等が会員となり負担金を支出 それに基づき、愛媛県観光物産協会では、県内外の観光客の誘致、観光物産、観光文化の振興、観光振興のためのイベント等の実施を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	協会運営に対する負担金		445
予算 (千円)	事業費計	445	445	445					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	445	445	445					
決算 (千円)	事業費計	445	445			主な 取組 内容 【R5】	松山市他市町及び観光協会、物産協会、商 工会議所等が会員となり負担金を支出。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	445	445						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担金の適正執行		目標	1	1	1	1	負担金を適正に執行できたため。	
			実績	1	1				
	現状維持	千円	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	滞りなく負担金を支出し、愛媛県観光物産協会の活動を行うことができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き観光振興につなげるため、負担金を支出する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	曾根 崇文	担当	片坐 美乃	

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (日本観光振興協会運営事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
39999								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	その他			—	—	—		—
施策	その他							
主な取組	その他		根拠法令					
取組みの柱	その他							
目的・背景	国への政策提言・広報啓発、観光地域づくり基盤・受入れ態勢整備促進、人材育成(研修開催、インターンシップの支援等)等 日本観光振興協会は、観光に関する中枢機関として魅力ある観光地域づくり、広域観光ルートの整備、観光交流の活性化等各種の事業を行っており、松山市の地域経済及び観光産業の発展、国際親善等にもつながると判断したため。							
対象・内容	負担金交付先:日本観光振興協会 愛媛県内への観光客のあっせんや、県産品の紹介宣伝・販路拡大などのあっせん・指導等 会員は全国約700の観光関係者で構成されており、観光交流活性化(訪日外国人受入支援等)、観光情報収集・提供システム整備等を行っている。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	協会運営に対する負担金		324
予算 (千円)	事業費計	324	324	324					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	324	324	324					
決算 (千円)	事業費計	324	324			主な 取組 内容 【R5】	愛媛県内への観光客のあっせんや、県産品の紹介宣伝・販路拡大などのあっせん・指導等		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	324	324						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担金の適正執行		目標	1	1	1	1	負担金を適正に支出できたため。	
			実績	1	1				
	現状維持	千円	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	滞りなく負担金を支出し、日本観光振興協会の活動を行うことができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き観光振興につなげるため、負担金を支出する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	菅 潤治	リーダー	青野 寛子	担当	山内 翼	新良 優佳

1.事業概要【Plan】

事業名	(公財)松山国際交流協会運営補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
42311								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			○	－	○	－	
施策	国際化の推進							
主な取組	国際交流の促進		根拠法令	松山市補助金等交付規則				
取組みの柱	国際交流事業・活動と人材育成の推進							
目的・背景	・(公財)松山国際交流協会は、市民や在住外国人が広く参加できる事業を実施し、在住外国人の地域への溶け込みを図るとともに、国際交流に貢献できる人材の育成、活用に向けたコーディネートなど、地域の国際交流の拠点として実践的な取り組みを展開している。当該協会に補助金を交付し運営資金を確保することで安定的な事業運営を図ることを目的とする。 ・(公財)松山国際交流協会は、基本財産10億円の運用益で各種国際交流事業を実施していたが、近年の金利の大幅な低下に伴い利息収入が減少し、当該協会の事業運営等に支障をきたす状況に至っていたため、補助金の交付を開始した。							
対象・内容	対象:(公財)松山国際交流協会 事業内容:(公財)松山国際交流協会へ補助金を支出。 市民レベルでの国際交流の推進に向け、地域や個人に根ざした国際交流事業や多文化共生に向けての諸事業を実施している。 ①国際体験創造事業 ②共生支援事業 ③基盤整備事業 ④もてなしの風土醸成事業 主な事業として、中学生の姉妹・友好都市への派遣、また、地球人まつりや国際交流サロンなどを通じて、国際交流を体験できるイベントを開催しているほか、日本語教室などを通じて在住外国人の支援などを行っている。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	国際交流費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	協会の事業実施に対する負担金補助及び交付金		57,646
予算 (千円)	事業費計	86,479	77,710	101,497					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	86,479	77,710	101,497					
決算 (千円)	事業費計	54,243	57,646			主な取組 内容 【R5】	・中学生世界体験プロジェクト(まつやま中学生海外派遣プログラム) ・大学生海外派遣事業 ・地球人まつり ・外国語としての日本語教室 ・国際交流サロン		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	54,243	57,646						
	(執行率)	63%	74%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	小中学生国際理解支援事業参加者数		目標	435	435	500	500	国際理解教室の継続実施による関心の高まり。
			実績	527	568			
	単年で増	人	達成率	121.1%	130.5%			
成果指標	中学生世界体験プロジェクト参加者数		目標	600	600	240	240	プロジェクトの周知期間が短かったため。令和5年度に名称を「中学生チャレンジプロジェクト」から「中学生世界体験プロジェクト」に変更したため、指標名修正。
			実績	0	219			
	単年で増	人	達成率	0.0%	36.5%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた中学生海外派遣事業の令和6年度再開に伴い、訪問都市等の事前調整や取り組み内容の見直しに時間を要し、限られた期間での実施であったため中学生世界体験プロジェクト参加者数の目標を達成できなかったが、小中学生国際理解支援事業参加者数は継続して達成し、国際性豊かな人材の育成に寄与した。						
課題	海外との往来が再開し、国際体験創造事業の拡充を進めると同時に、地域の国際交流の拠点として増加傾向にある外国人在住者に対する共生支援事業や基盤整備事業を現状に合わせて改善して行く必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	社会情勢や時代の変化にあわせた事業内容の見直しと改善を行うことで国際性豊かな人材の育成を継続する。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	菅 潤治	リーダー	青野 寛子	担当	新良 優佳	山内 翼

1.事業概要【Plan】

事業名	国際交流推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
42312								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	多彩な人材を育む			○	－	－	－	
施策	国際化の推進							
主な取組	国際交流の促進		根拠法令					
取組みの柱	都市間交流の推進							
目的・背景	・姉妹・友好都市との交流を中心に国際交流の進展を図り、国際性豊かな人づくりを推進する。 ・昭和56年のアメリカ・サクラメント市との姉妹都市提携をはじめとして、平成元年にドイツ・フライブルク市と姉妹都市提携を、平成16年に韓国・平澤市と友好都市提携を、平成26年に台湾・台北市と友好交流協定を締結するなど、国際交流を推進している。							
対象・内容	対象:姉妹・友好都市を中心とした海外の都市 事業内容:姉妹・友好都市との交流促進を図るため、姉妹・友好都市や民間の交流親善団体との調整を行っている。また、代表団の派遣や会議への参加、スポーツ交流などを通じて、都市間交流を促進している。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	国際交流費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	普通旅費		1,837
予算 (千円)	事業費計	6,898	7,437	15,951			ぶどう園管理やブース設 営の委託料など		646
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	6,898	7,437	15,951		表敬訪問者や現地協力 員・通訳の報償費など		462	
決算 (千円)	事業費計	1,977	3,170			主な 取組 内容 【R5】	・平澤港マラソンへ選手派遣 ・プラザ・クリナリア出展(フライブルク市) ・愛媛マラソンへの平澤市訪問団受入 ・大学生海外派遣事業(台湾・台北市)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,977	3,170						
	(執行率)	29%	43%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	オンラインや来松時の機会を捉え協議を 行ったり、海外でのイベントが開催されな かったことで旅費等の支出が少なかったた め。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	姉妹・友好都市への訪問者数		目標	210	210	210	210	台湾・台北市の友好交流協定10周年記念関連事業が台北市で行われたため。	
			実績	21	452				
	単年で増	人	達成率	10.0%	215.2%				
成果指標	姉妹・友好都市からの来松者数		目標	255	255	255	255	目標には届かなかったものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、対面交流が増加し、来松者も昨年度と比べ大幅に増加した。	
			実績	59	232				
	単年で減	人	達成率	23.1%	91.0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	令和5年度から海外への渡航制限も緩和され、従来通りの往来が可能となり、台北市との友好交流協定10周年記念関連事業の実施に伴う行事やイベントが開催可能となったため。							
課題	令和5年度から海外への渡航制限も緩和され、数年ぶりの派遣や受入が多かった。交流水準の維持及び増加が課題。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き姉妹・友好都市等との交流を深め、交流人口の拡大につなげる。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557	
部長等名	西村 秀典	課等長名	曾根 貞行	リーダー	岡本 徹也	担当	須田 大介	江原 晶彦

1.事業概要【Plan】

事業名	松山城復興建造物等調査・改修事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
44111							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む		—	—	—	—	
施策	文化遺産の継承						
主な取組	文化財の保存・活用	根拠法令	地方公営企業法、松山城天守閣条例				
取組みの柱	文化財保護の推進と活用						
目的・背景	重要文化財・松山城の魅力を高めるとともに、観光客の利便性を図るなど、松山城の運営・管理を行うことを目的とする。1923年(大正12年)、松山城(本丸)が旧藩主家の久松家へ払下となり、そのまま松山市に寄贈され、以降、松山市の所有となっている。						
対象・内容	対象:松山城の建造物(重要文化財以外)。 事業内容:平成20年度から指定管理者制度を導入し、復興建造物の維持管理を行っているが、大規模な改修は、本事業から松山市が直接実施している。 令和5年度は松山城乾門・同西堀外部改修工事等を実施。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	松山城観光事業特別会計	款	松山城管理費	項	松山城管理費	目	松山城管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	工事請負費		34,132
予算 (千円)	事業費計	91,527	51,647	87,051			委託料		495
	国費・県費								
	市債								
	その他	91,527	51,647	87,051					
一般財源									
決算 (千円)	事業費計	41,821	34,627			主な 取組 内容 【R5】	令和5年度は松山城乾門・同西堀外部改修 工事等を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	41,821	34,627						
	一般財源								
	(執行率)	46%	67%						
人役	正規職員	0.7	0.7	0/7		特記 事項			
	その他								
	合計	0.7	0.7	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	計画に基づく施設の調査・大型改修の着工数		目標	1	1	2	2	松山城乾門・同西堀外部改修は計画どおり着工し、目標を達成した。	
			実績	1	1				
	現状維持	件数	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画どおり、松山城乾門・同西堀外部改修に着工できた。							
課題	令和5年度以降は指定管理者が変更しており、指定管理者と連携して施設の日常点検に努め、将来的な施設の修繕計画策定につなげる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度から指定管理者が変更しているが、施設の管理・運営等の業務内容に変化はないため。